

所蔵資料紹介 (特定歴史公文書等)

東京大学「紛争日誌 その2」(2)

秋山淳子

「紛争日誌 その2」について (続)

前号に続き、東京大学による大学紛争の経過記録「紛争日誌」(当該資料群の概要は本誌第37号を参照)から、「紛争日誌 その2」を紹介したい。今号では(2)として1968(昭和43)年8月2日～10月31日を対象に翻刻する。

この期間は、学内に紛争状況が大きく展開していく過程が記録されている。いわゆる8・10告示によって学生たちの運動は高揚し、次第に全学ストライキへと拡大、同時に構内での勢力間武力衝突も発生していく。

なお、翻刻に際しての注意点や凡例については、第37号に記載されているので、そちらを参照されたい。翻刻作業は当館職員(秋山淳子・小林雅子・横尾雅子)の分担によるものである。

「紛争日誌 その2」(2) (1968(昭和43)年8月2日～10月31日)

8月2日(金)	9:00	大講堂正面玄関前に下記立看板あり。 { 見よ学生部と公安警察とのハレンチな関係を!!の見出しで 報告メモ、文書等のリコピー等を貼りつけてあり、王子デ モ等で東大と他大学警察等との連絡を非難するもの。
8月3日(土)	10:00	研究所長会議開催(医科研)
	14:50	研究所長会議終了(医科研)
8月4日(日)	23:00	法文1・2号館附近にビラ多数が貼りつけてあった。 東大斗争勝利 8.13集会 “反戦反安保斗争の現段階と課題” 日時 8.13(火)午後6時 場所 東大講堂 主催: 8.13集会実行委
8月5日(月)	12:20	大講堂正面玄関前に反帝学評、全学斗争連合等の学生約20人が集合「8・5全学決起集会」を開く。その後集会参加者は増加し約150～160人位となる。
	15:30	デモに移り大講堂南側-山上会議所前(要求7項目をシュプレヒコールする)-病院玄関前-竜岡門-本富士署前(同署ではマイクを使いこのデモは無届けであり中止するよう呼びかけを行う)-本郷三丁目-赤門-正門のコースで行進し、同4時10分大講堂前で解散した。
8月6日(火)	10:00	学部長会議開催(医科研)
	11:00	正門外の堀に下記ビラ多数が貼りつけてあり。

		<p>8.6 全都高校生反戦集会 全都高校生反戦集会実行委</p>
12:00	大講堂正面玄関前に下記立看板あり。	<p>8.6 全都高校生反戦集会 1. 侵略と抑圧の日米軍事同盟粉碎 1. 米軍物資輸送反対 1. ベトナム人民の勝利を 1時30分 安田講堂 主催 全都高校生反戦集会実行委</p>
12:30	学生部で正門に下記立看板を出す。 「大講堂における集会は許可していません。他校生の入構を禁止します 昭和43年8月6日 東京大学」	
13:20	学部長会議終了(医科研)	
13:30	大講堂において「全都高校生反戦集会」が開かれ、高校生、予備校生等約50人位が参加している模様。	
15:00	山上会議所3号室の学生部仮事務室に黄、赤、白、青のヘルメットに覆面姿の東大斗争全学共闘会議の学生約15人が押しかけ、長谷川学生部長を取り囲み、①第一次大講堂占拠事件で学生が逮捕されたが、これは学生部が警察当局に対し証言したことの疑がある。②その他学生に対するスパイ活動について、以上の事実について回答せよと迫り、押し問答をくりかえす。	
16:10	大講堂の「全都高校生反戦集会」が終わり、高校生等約50人が正面玄関前で氣勢をあげ、赤旗3本、茶旗1本、プラカード4本をもちデモを行いながら、午後4時15分頃正門から出構、本郷三丁目を経てお茶の水方面に向う。	
17:00	学生部仮事務所に押しかけた学生は約20人となる。	
18:00	学生は約40人位となり「学生問題について答えられないのは学生部ではない。この部屋は学生で管理する」と宣言し、午後6時25分頃同事務室の入口扉と窓をクギ、カスガイで打ちつけるなど始め、職員ともみ合ったが、午後6時30分学生部長以下を室外に押し出す。	
19:00	学生は大講堂に引きあげた。	

8月7日(水)	10:15	評議会開催(医科研)
	13:05	評議会終了(医科研)
	13:40	学部長会議開催(医科研)
	14:30	学部長会議終了(医科研)

8月8日(木)	0:00	角材を所持した白ヘルメットの学生2人が山上会議所3号室にきて封鎖の状態を点検する。
	11:00	銀杏並木に立看あり

		8.13 反戦反安保斗争の現段階と課題 6時 安田講堂 8.13 集会実行委
	20:30	学生が3、4人位ずつ組み、角材を持ち構内各所をパトロールしている。

8月9日(金)	13:30	学部長会議開催(海洋研)
	19:30	学部長会議終了(海洋研)

8月10日(土)	10:10	評議会開催(医科研)
	11:15	評議会終了(医科研)
	12:05 ~ 12:40	医科研において総長記者会見(辻法学部長、藤井理学部長、豊川医学部長同席)を行い、東大の異常事態に対する取捨策を発表
	13:00	学部長会議開催(医科研)
	14:00	学部長会議終了(医科研)
	14:00	病院において教育用掲示板に下記を掲出した。 昭和43.3.11付けを以て発表された左記の者の懲戒処分は本日付けをもって、その発効以前の状態におかれることを決定した。 昭和43.8.10 病院長 上田英雄 記 氏名(宇都宮泰英、大村昭人、宮永豊、本田勝規、長田博昭)
	16:50	学生部において構内各掲示板に「告示」を掲出した。同時に大講堂の時計台放送が「全学の学生に訴える。8月10日の告示は断固拒否する」との放送を行う。
20:00	医学部において同学部本館前掲示板に下記「告示」を掲出した。 告示 昭43.3.11付けをもって発表された左記の者の懲戒処分は本日付けをもって、その発効以前の状態におかれることを決定した。 昭43.8.10 医学部長 豊川行平 記 氏名(中佳一、三吉譲、児玉和夫、盛岡康晃) 学科、氏名(医学科・三科正彦、榊本卯女、水谷淳子、谷口一郎、坂本道子、榎本武、上野一郎)	

8月12日(月)	13:00 ~ 17:00	「告示」および「総長談話」を全学各部局に送達した。(部局において学生、教職員に配布)
	15:00	大講堂正面玄関前に立看板あり。 8.13 全学総決起集会 3時 安田講堂 8・10 = 告示 欺瞞的取捨策動粉碎

		9月総攻勢を全学で準備せよ 東大斗争 全学共斗会議
15:30		医学部において、8月10日付けで懲戒処分を発効以前の状態に戻した中佳一以下11人に対し、その旨を文書で通知(郵送)した。

8月13日(火)	12:30	学生部で本日の「8.13反戦・反安保集会」に備えて正門、赤門および竜岡門に下記立看板を掲出する。 「本日の大講堂における集会は許可されておりません。本学関係者以外の入構を禁止します。 昭和43年8月13日 東京大学」
	13:30	学部長会議開催(総合図書館)
	15:20	大講堂正面玄関前に東大斗争全学共斗会議、全学斗争連合等の学生約120人位が集合「8.13全学総決起集会」を開き、大学側の事態収拾方針反対、7項目の要求貫徹を叫ぶ
	15:30	学部長会議終了(総合図書館)
	17:00	学生部、庶務部および経理部の職員が正門、赤門、竜岡門に分かれ学外からの「反戦・反安保集会」参加者の入構を警戒する。 なお、正門、赤門は大門を閉じ、竜岡門は脇門を閉じた。
	17:10	「8.13全学総決起集会」終了
	17:20	デモに移り、大講堂周辺を一周し、病院に向う。
	17:25	デモ隊は、病院内科玄関前で「処分粉碎」を呼び、さらに外科研究棟に侵入、同棟廊下で「処分の白紙撤回」のシュプレヒコールをくりかえし午後5時40分病院を退去、医学部中央館前を通過し、医学部本館方面に向う。
	17:45	医学部本館前でシュプレヒコールを行う。
	17:50	赤門附近で集会を開き、赤門警備の職員に大門の開門を要求し、門のカンヌキを角材でたたき、また学外者の立構禁止の立看板を破り、職員を追い散す。
	18:00	赤門に見張りの学生約10人が残り、他は電車通りをデモ行進し、正門に向う。
	18:05	正門に到着したデモ隊は大門を開き入構後、警備の職員の撤退を要求し、大門を閉じないため石川、寺沢両学生委員が学生を説得した。このため学生は、閉門に同意し、見張りの学生7人位を残し、大講堂に入る。
	18:07	大講堂において「8.13反戦・反安保集会が開かれ、学外からは三里塚、芝山連合空港反対同盟委員長、砂川基地拡張反対同盟代表、三多摩兵器生産輸送阻止実行委代表、麻布米軍 ^マ マリポート撤去斗争代表等が参加した模様。
	18:30	正門、赤門および竜岡門の警備要員を引きあげる。
19:35	正門、赤門の見張りの学生引きあげる	
21:40	「8.13反戦・反安保集会」終了、午後9時42分頃大講堂から集会参加者約200人位が出る。	

		<p>(その他)</p> <p>(1) 本日付けで医学部長豊川行平、病院長上田英雄の両教授が辞任し、新たに医学部長に小林隆、病院長に石川浩一の両教授が就任した。</p> <p>(2) 東大斗争全学共闘会議の学生は本日、「東大当局の方針に対するわれわれの態度」と題する文書約 18,000 枚を作成し、医、文各学部学生全員とほかに 8 学部自治会代表らに送付した。</p>
<p>8月14日(水)</p>	<p>10:00</p>	<p>理学部1号館南側に立看板あり。</p> <p>教授会自治に基づく告示を乗っとり 東大斗争の全面的勝利を 本部封鎖方針の誤りを批判し、自治会民主主義を確立しよう 全学全階層の統一と団結で我々の要求を貫徹しよう</p> <p>17日 東院協討論集会 22日 全学総決起集会 東院協執行部</p>
<p>8月15日(木)</p>	<p>4:00</p>	<p>大講堂正面玄関前に下記立看板あり。</p> <p>大学当局、医教授会に要求する</p> <p>8月10日の告示は我々が態度表明で明かにした通り処分と機動隊導入に関して自己批判の欠けたものであるばかりか、青医連に関しては一切触れずに、問題を登録医制を推進している医学部内に押しとどめようと言う欺瞞的なものである。</p> <p>我々はこのような大学当局の姿勢を明らかにしたものと して8月20日より東大病院に於て3月28日に卒業したと 言う医学部のスト破り11名に対しての登録医制下での研 修が一斉に始められ、一部の科ではすでに行われていると 聞いている。</p> <p>我々はこの事が事実であるとすれば、一方で欺瞞的告示 を出しながら、他方で医学部学生、青医連を無視して登録 医制の既成事実化を押し進めているものとして、大学当局・ 医学部教授会に対して厳しく抗議すると共に、直ちに中止 することを要求する。</p> <p>については8月19日正午迄に(1)上記に伝えられた事 が事実であるかどうか。(2)事実であるとすれば、その 釈明と直ちに中止する意思があるか否か。を回答して頂 きたい。回答なき場合、或は我々の要求を無視してスト解 決以前にスト破りについての研修を強行する場合には、我 々は全学の力を結集して大学当局・東大病院に対して断固 とした斗争を組まざる得ない事を明らかにする。</p> <p>昭和43年8月15日</p>

		大河内総長 小林医学部長 石川病院長 東大斗争全学共斗会議
--	--	--

8月16日(金)	13:00	銀杏並木入口に下記立看板あり。 8.22 全学総決起集会 7項目の要求貫徹まで斗い抜こう 9月無期限スト、試験ボイコットを準備せよ 告示=欺瞞的取捨策粉碎 12時 時計台前 2時 東大C 法学部斗争委 東大斗争全学共斗会議
----------	-------	--

8月17日(土)	8:00	病院外来玄関前に下記立看板あり。 (1) 8.22 全学総決起大会 12時 時計台前集合 1時 学内デモ～駒場へ 2時 駒場で総決起大会 欺瞞的告示粉碎 総長大衆団交、7項目要求貫徹 全学試験ボイコット全学封鎖でどうぞ (2) 旧体制のカイライ、医新体制の陰謀粉碎 一般的微笑外交の裏を見よ 卒業試験再開粉碎 スト破り及び同調者(全学年)への工作を止めよ 異常事態の解決なしの登録医法をスタートさせ斗争を破壊 せんとする(11名)研修粉碎 医学部封鎖でどうぞ 8.20 2時(於333)医学総決起集会
	10:00	学部長会議開催(農学部)
	14:10	学部長会議終了(農学部)
	16:30～17:30	神田学士会館において小林医学部長、石川病院長、大島正光医学部教授が記者会見を行う。
	17:00	「医学部長、病院長談話」および「病院長談話」を医学部学生および42研修生に送付した。

8月20日(火)	10:00	学部長会議開催(医科研)
	13:10	学部長会議終了(医科研)
	13:50	評議会開催(医科研)
	14:00	医学部中央館3階333室にて医学総決起集会が開かれ、学生15人位が参加している模様
	15:40	同館地下B02号室にてM4クラス会が開かれ20～25人位が

		出席している模様
	16:45	同館 333 号室の集会終了
	16:45	評議会終了 (医科研)
	17:00	病院外来診療棟屋上研修医ルームに研修生約 20 人位がいる模様
	17:00 ~ 17:40	法学部長、理学部長、農学部長記者会見を行う (医科研)
	17:40	学部長会議再開 (医科研)
	19:40	学部長会議終了 (医科研)
	21:00	医学部中央館地下 B 02 号室の M 4 クラス会終了
	22:00	病院外来診療棟屋上研修医ルームの研修生帰宅

8月21日(水)	17:10	時計台放送が「本日、ソ連軍がチェコの首都プラハに侵入した。我々はこれに対し、ソ連大使館に赴き抗議したい。学友諸君直ちに赤門に集合して下さい。」と放送を行なう。
	17:40	東大斗争全学共斗会議の学生 26 人 (内女子 3 人) が赤門に集合、本郷 3 丁目方面に向う。

8月22日(木)	1:00	革マル系学生 12 人 (ヘルメット持参、内女子 2 人) 文学部自治会室に入る。
	5:45	大講堂から学生 18 人 (内女子 3 人) が池の端方面に向う。
	12:40	大講堂前広場で 8・22 全学総決起集会が開かれ、学生約 45 人位が集まる。
	13:30	医学部中央館に集合した学生 15 人が大講堂前広場の集会に合流
	13:50	集会を終え、デモを行ない、午後 1 時 55 分正門から出構、教養学部に向う。
	13:50	教養学部学生 20 人位が同学部第一本館前で集会を開き、構内デモ等を行なう。
	15:00	同学部学生約 70 ~ 80 人位となる。
	15:30	本郷から東大斗争全学共斗会議の学生約 65 人位が到着、集会に合流する。
	15:30	医学部学生有志 118 人の下記スト終結宣言および声明 (略) が正門、赤門、弥生門、医学部本館前等の掲示板に掲出された。 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p style="text-align: center;">宣言</p> <p>我々は今回の東京大学及び医学部の提案は我々の要求を基本的に満すものと判断し参加の総体の支持に裏打ちされた組織が存在しない現時点に於て各人の責任に基きここにストライキを終結することを宣言する。</p> <p>我々は今時点迄の混乱に関しての我々の責任を回避するものではない。</p> <p style="text-align: center;">1968. 8. 22</p> <p style="text-align: right;">医学部学生有志 118 名</p> </div>
	17:10	教養学部における集会終了 なお、本日午後 7 時からはソ連大使館にチェコ侵入に抗議に

		赴くことを決議した。
22:00		<p>医学部本館前掲示板に下記通告が掲出された。</p> <p>大学当局の欺瞞的告示に対し、バカげた政治的解釈をし、ストライキ破りの宣言をした 118 名に通告する。</p> <p>(1) クラス会、全学大会を無視した非民主的な終結宣言はスト破り宣言にはかならない。我々は断固として弾糾する。</p> <p>(2) 118 名とその責任者は個々の責任において直ちに全員氏名を明らかにせよ。</p> <p style="text-align: right;">43 執行委</p>

8月24日(土)	8:00	<p>医学部本館前に下記立看板あり。</p> <p>30日全学大会に結集せよ 開催要求、署名を以て成功へ 欺瞞的告示粉碎 7項目要求貫徹 斗争破壊分子糾弾 医学部全学斗連絡会議</p>
	11:40	<p>赤門前で明大生3人が下記ビラを配布している。</p> <p>シンポジウム 8～24 暴動への招待 フィルム ザ スペース ドキュメント ハプニング ハイミナールア GOGO!! 日時 8月24(土) PM 6:30～PM 12:00 場所 東京大学解放区(安田講堂) (参加費) 200円 参加整理券頒布中 プロモーター 新宿都市工学研究会 会場提供 東大全学共斗会議</p> <p>(参加費は映画の製作と東大全共斗に対するカンパまたは当日の会場費などにあてられます。)</p> <p>会議招待予定者(略) 主旨 (一部書き抜き)</p> <p>このシンポジウムは、過密都市における武装蜂起の可能性を追求し、都市の構造と機能全体を巨大な兵器として使う方途を模索して民衆に戦う武器を提供し、包括的な都市ゲリラ論、都市革命論を展開することを目的として開かれる。</p>
	12:30	<p>病院産婦人科研究室に東大斗争全学斗争会議の学生級^{ママ}30人が押しかけ、小林医学部長を取り囲み①大衆団交に応じる②スト破りの118人の学生のために授業を再開するなとつめよる。</p>
	15:00	<p>医学部長が8月28日午後1時から会見することを提案、約20人位は帰ったが残り10人は、次回は大衆団交を行えと主張を続けている。</p>
	16:00	<p>大講堂正面玄関側に電蓄用アンブセット、大型ステレオセット(1台)スライド映写機(4台)が置かれている。</p>

16:00	正門掲示板に「医学部学生、118名で出された声明についての我々の見解」と題するビラが掲示された(別紙2)
17:00	病院産婦人科研究室で小林医学部長と交渉していた学生10人は引きあげる。
17:30	正門、赤門、竜岡門および弥生門に下記立看板を出す。 「安田講堂における集会は認めておりませんので、これに参加する学外者の入構をお断りします。 8月24日 東京大学」
17:50	本日のシンポジウム開催者側の学生らしき者が大講堂前広場でマイク、スライド映写幕をセットしている。またコココーラ売店が設けられた。
18:40	シンポジウム参加の学外者60人位が大講堂前広場に集まる。
19:40	ヒッピー族らしき男女を混え学外者150人位が集合、大講堂広場でスライドを映写し、3ヶ所でたき火を始め、また花火を打ち上げる。 その周囲では、白、黒のヘルメット姿の者10人位が角材、バット等を持ち、私服警官等を警戒している。
20:00	たき火を消し、シンポジウムを開始。
20:00	大講堂広場の路上にスプレーで「帝国大学災上興廃せよ。1968.8.31 新宿・米帝粉碎」等落書きする。
20:55	黒ヘルメットの一団20人位が大講堂南側道路傍の浜尾新元総長の銅像によち登り、銅像の頭上から上半身にかけて白ラッカーを、また下半身にかけて金色のラッカーを吹きつけ、銅像の台座とその周辺に「革命」「新宿コンミュン70年に革命へ」等を落書きして、これを制止しようとする大講堂占拠の学生と論争する。
21:45	黒ヘルメットの一団は「銅像は権力の象徴である」と叫び銅像の首を金ノコを使い切断を始め、またロープで引き落そうとする。
22:35	一団のリーダーらしき者が、銅像の破壊作業は①技術的に困難である②東大生とのコミュニケーションが崩れる。③現在本富士署に第2機動隊が待機しているとの情報が入った、との理由で取り止めると発言する。
23:05	学外からの参加者の大部分が帰り始める。
23:40	残り20人位が大講堂正面玄関傍で大講堂占拠の学生と論争しており、御殿下グランド付近にはマイクロバスを駐車させ15人位がいる。

8月25日(日)	0:10	8.24シンポジウム参加者全員引きあげる。
	12:00	医学部本館前に下記立看板が出る。 { (1) 8・30全学大会で反革命分子をコッパミジンに粉碎し、全学9月斗争勝利の突破口に (2) 反革命分子を密通呼応した卒試再開告示粉碎

(医学部病院封鎖を辞さず

8月27日(火)	8:00	大講堂正面玄関前に下記立看板が出されている。 (1) 8.28 卒試粉碎7項目貫徹 全学総決起集会 12時：安田講堂 1時：医学部本館前 1、医卒試粉碎 2、当局と結託したスト破り弾劾 3、臨床研修協議会粉碎 4、医本館封鎖から全学封鎖へ 5、7項目要求貫徹 全学共斗会議 医スト実行委 (2) 本日全国高校生10.21 斗争委 結成大会会場8.27 午後2時
	10:00	学部長会議開催(医科研)
	12:30	正門、赤門、竜岡門、弥生門に下記立看板を出す。 「安田講堂での集会は認めておりませんので、これに参加する学外者の入構をお断りします。 8月28日 東京大学」
	13:50	学部長会議終了引き続き評議会開催
	14:00～14:30	高校生らしき者約19人位が大講堂に入る
	15:50	大講堂内には高校生約60人位が集まっている模様。
	16:40～17:10	法学部長、経済学部長記者会見を行なう。(医科研事務長室)
	17:20	浜尾新元総長の銅像を工学部等の学生7～8人が薬品を用い洗浄作業を行なう。
	17:40	大講堂の高校生の集会終了
	17:40～18:00	高校生約40人位が大講堂から出て帰る。
	17:50	評議会終了
	18:00～18:15	大講堂の高校生記者会見
	18:20	高校生約20人位が大講堂から出て帰る。

8月28日(水)	8:30	赤門掲示板に旧M4、9人がスト続行派をはなれスト終結宣言を行なった118人と行動を共にする旨の宣言が貼り出されている。
	10:30	東大斗争全学共斗会議の学生(医学部学生らしい)数人が駒場の教養学部正門前で同学部学生に本日本郷で8・28全学総決起集会があるので、これに参加せよと呼びかけ、さらに医学部封鎖を行なうと述べていた。
	12:30	駒場から学生約28人が本郷に向う。
	13:00	医学部本館に医学部学生25人位が入る。
	13:20	教養学部学生28人(殆んど青ヘル)大講堂に入る。
	13:43	医学部本館に集合の学生は30人位となり、同館3階の講堂に

		押し入る。
	13:53	ヘルメット姿の学生約 40 人大講堂に入る
	14:10	大講堂から青、赤、白ヘルメット姿の学生約 70 人が出て病院玄関前に集合、その後医学部本館講堂に入る
	14:23	学生数人が医学部本館事務室の裏に鉄板等を積上げバリケードを構築する。
	14:26	経済大学院学生約 23 人が学内デモの後医学部本館講堂に入る。
	15:30	医学部本館正面玄関前に白、青ヘルメットの学生 5 人が見張りに立つ。
	16:00	学部長会議開催（農）
	16:40	医学部本館に集結した学生約 160 人位（殆んど白、赤、青、黄、黒のヘルメット着用）が学内デモを開始し、赤門－電車通り－正門－大講堂－病院－医学部中央館のコースで行進、午後 5 時 5 分頃、医学部本館に戻る。
	16:45	医学部学生委員（林一、渥美和彦各教授）が医学部本館講堂に赴き、集会中の学生に対し、本日午後 5 時から病院産婦人科教授室において静粛な状態において話し合いを行ないたいとの小林医学部長の意向を伝えたが、学生側はこれを拒否した。
	17:15	医学部本館の学生は、同館内各研究室、事務室を廻り、教職員を追い出し、午後 5 時 37 分同館を完全に占拠、各入口を閉鎖して、ロッカー等でバリケードを築く。
	18:00	文部省大学病院課に事態を報告。
	18:35	病院産婦人科教授室において、小林医学部長が記者会見中ヘルメット、覆面姿の学生約 50 人が押しかけ、記者を追い出し、同学部長に団交を要求する。
	18:50	病院整形外科の南講堂に移り交渉に入る。その後学生は約 70～80 人位に増え、小林医学部長 1 人を取り囲み「卒業試験の告示を取り消せ。7 項目の要求を認めろ」と一方的な要求を続ける。 同講堂の入口で医学部山本俊一教授、病院産婦人科中山徹也助教授等が我々も学部長と同席させると学生と交渉したが学生はこれを拒否している。同講堂に出入する学生のヘルメットには早大その他大学のネームが入っているものを着用している者がいた。
	23:30	学部長会議終了

8月29日（木）	0:05	小林医学部長と学生との交渉は物別れの形で終り、学生は病院整形外科南講堂から退去、学内をデモし大講堂に戻り、その後解散した。
	0:10	医学部長記者会見し、午前零時 20 分帰宅
	0:40	各学部長に事態報告
	8:00	病院外来診療棟玄関前に下記立看板が出されている。 医学部本館封鎖貫徹を病院外来封鎖へ 研究医療体制の革命再編へ 9・3 駒場集会

		試験実力阻止に決起せよ。 医スト実行委
11:20		学部長会議開催（医科研）
14:27		学部長会議終了（医科研）
16:40		医学部中央館地下 B02、B03、B04 号室と 3 階でクラス会が開かれている模様。
16:45		医学部中央館 3 階ロビーで読売新聞社【個人氏名】記者が取材中、学生 20 数人に取り囲まれた。学生数人は同記者を約 5 メートル離れたエレベーターに押しつけ、無抵抗の同記者を後から羽がいじめにし、こづいたり、こぶしで 20 回位なぐるなどし、また、メモ帖を取り上げたり、ポケットを探るなど約 30 分間乱暴した。同記者はその後、午後 5 時 45 分本富士署にきてこのことを届出、その後、近くの慈愛病院に収容されたが、顔、みぞおち、両腕、左胸の下になぐられたあとがあるほか、内臓内出血の恐れもある。
17:00 ~ 18:00		神田学士会館において医学部太田邦夫、中井準之助の両教授が記者会見を行なう。
23:40		8 月 28 日の学生の医学部本館封鎖に対する医学部長声明を医学部本館前に掲示した。

8 月 30 日（金）	8:00	各門に文学部社会科学部スト反対派有志のスト終結ビラが貼り出されている。
	10:00	学部長会議開催（医科研）
	13:20	総長記者会見（読売新聞記者に対する暴行事件について）
	14:25	記者会見終了
	14:25	医学部中央館地下 B02 号で M 4 約 30 人位がクラス会を開いている模様
	15:00	学部長会議終了（医科研）
	17:25	B02 号室の M 4 クラス会終了
	18:00	学内に下記を掲示した。 「8 月 29 日夕刻発生した読売新聞記者の負傷事件について事情を承知したいので、当事者は至急関係学部長に申し出られたい。 8 月 30 日 東京大学」
	20:00	上記と同文の立看板を医学部中央館に出す。
		その他 1、本日学生自治会中央委員会の学生が記者会見を行ない下記を公表した。 (1)「8 月 10 日の総長告示は学生の民主的な権利を認めていない」とし、9 月休み明けから全学ストに入り期末試験を延期するよう大学当局に申し入れる。 (2) 大講堂、医学部本館等を実力で封鎖を排除する。 なお、告示に対しては、次の要求項目を決めた。

		<p>① 機動隊導入を自己批判し、再導入しないことを確認する。</p> <p>② 1月以降の事態について処分者を出さない。</p> <p>③ 学生の団交権を認め、大衆団交を行なう。</p> <p>④ 全学的な協議会を作り、大学の重要問題を話し合う (この4項目を実現するため休み明けと同時に長期ストに入る。9月20日頃大衆団交を行なう。)</p> <p>2、読売新聞記者に対する暴行事件について午後3時すぎ総長が、同社を訪れ原編集局長に陳謝の意を表明、そのあと【個人姓】記者を入院中の慈愛病院に見舞った。</p> <p>3、読売新聞社は、本日夜原四郎編集局長名で医学部学生三吉譲ほか20数名(学年・氏名不詳)を傷害罪で警視庁に告発した。</p>
--	--	--

8月31日(土)	10:00	学部長会議開催(医科研)
	11:00	<p>大講堂正面玄関前に下記立看板が出された。</p> <p>通告 読売新聞を弾劾する</p> <p>読売新聞は東大斗争を事実を歪曲し、報道し、事実無根の告発を行なった。</p> <p>同社が事実を訂正し、告訴を撤回し、我々に謝罪しなければ我々は今後同社の取材を認めないとし、なお次の事項が記されている。</p> <p>① 読売は権力と結託して学生の暴力キャンペーンを行なっている。</p> <p>② 8月28日の小林医学部長と交渉のさいの記事で同学部長をこずいたり、また南講堂に押し込めたとの記事は事実を反し、また角材を持っていた事実はない。</p> <p>③ 8月29日の【個人姓】記者が暴行を受けたということに対し、殴打の事実はなく、制止しようとした学友ともつれたものであると反論している。</p>
	13:30	学部長会議終了(医科研)
	14:00	総長記者会見
	15:30	総長記者会見
	17:00	東京大学告示および医学部告示を各門に掲示(学生の暴力行為に関して)

9月2日(月)	8:30	<p>大講堂正面玄関前に下記立看板あり。</p> <p>(1) 9・3 東大斗争勝利全学総決起集会</p> <p>7項目要求貫徹</p> <p>欺瞞的取捨策粉碎</p> <p>卒業試験粉碎、医学部封鎖貫徹</p> <p>研修協議会粉碎、青医連の確立</p> <p>政府官憲の東大斗争圧殺を許すな</p> <p>駒場と連帯し、9月全学無期限スト試験ボイコットで</p>
---------	------	---

		斗い抜こう 総長・評議会団交実現 12時 本郷時計台前 3時 駒場正門前 全学反帝学評 東大斗争全学共斗会議 (2) 9.5 医全学スト実行委結成決起集会 1時 医図3階 反帝学評(準) 9.7~8 医学連大会を成功させよう
8:30	病院前グランド扉に10数枚の紙に下記が記載され貼り出されている。	{ 全ての研究者・医局員は9.7 第2回基礎・病院大討論集 会に結集せよ。 2時 好仁会3階 医基礎・病院連合実行委
10:00	学部長会議開催(医科研)	
15:00	病院封鎖に対して断固患者を守るとの病院長声明が学内に掲示された。	
15:45	学部長会議終了	
18:00	経済大学院学生約15~6人が経済学部を出て大講堂正面玄関前までデモ行進し、内7人が大講堂に入り他は経済学部に戻る	

9月3日(火)	10:14	研究所長会議開催(医科研)
	11:25	三吉譲に対し、医学部長名で下記呼びかけを医学部本館前および病院に掲示した。 { 医学部中央館で発生した読売記者に対する事件につき至急 医学部学生委員長林一教授に連絡するか、あるいは警察に 申し出て自分の立場を明らかにしてもらいたい。
	12:05	医学部中央館内に下記ビラが貼り出されている。 { 43クラス決議9月1日 7項目3項目を堅持し、9:10~9:20 駒場本郷全学スト、 試験ボイコットに向けて最大限の努力を行なう。 今後は青医連(準)に結集する。各負は徹底討議に基づ いた決議に絶対的に従う。 医学部が中心のかつ主体的斗争
	12:20	大講堂前広場に東大斗争全学共斗会議の学生7~8人が集合、マイクを使い読売新聞に対する弾劾と8月10日の告示反対・学生の大学運営に参加する問題等を討議している。
	12:44	研究所長会議終了
	13:00	革マル系学生約30人が合流、また社青同、社学同等の学生も合流約100人位となる
	13:05	9.3 全学総決起集会が開かれ、学生代表が下記について次・

		次に演説する。 { ①8月10日告示反対 ②政府、文部省の大学政策批判 ③民青との対決 ④斗争を全学バリケードに発展させる。
13:30		集会終了、学内デモに移る。参加者は約150人位（殆んどヘルメット着用） 大講堂前－理学部1号館－病院－医学部本館のコースで行進し、午後1時55分赤門を出構、本郷3丁目を経て、駒場の教養学部に向う。
14:00		本郷3丁目付近でデモ隊と警官隊が小競り合いを行なう。警官隊は三吉讓を捜索した模様。
14:40		駒場に到着、教養学部構内をデモ行進する。
15:30		教養学部学生と正門前で合流約300人位となる。 なお、教養学部構内では別に民青系学生約300人位とフロント系学生約80人位がそれぞれ集会を開いている。
15:50		東大斗争全学共斗会議の学生・総決起集会を開き、各学部代表が斗争経過報告を行なう。
16:55		ノンポリ学生に対する呼びかけを討議
17:30		学生代表が読売新聞に抗議に赴くことを決議（医学部3号館封鎖は討論されていない）
18:00		集会終了、学生代表がマイクロバスで読売新聞に向い、他の学生は構内デモ
18:30		デモを終り、一応解散したが、教養学部学生は10番教室で本郷側の学生は構内数ヶ所に分散して討論を行なう。
18:30		読売新聞に向った学生16人は同社3階応接室で片柳社会部次長に面会「【個人氏名】記者に暴行した事実はない。告発を取り消して訂正文を出せ」と抗議した。その後同社での片柳次長との話し合いが長びいたため一時は機動隊50人が出動して警戒に当たったが、学生は午後9時すぎ引き上げた。
19:00		東大斗争全学共斗会議の医学部学生約50～60人駒場から引きあげ本郷へ向う。
19:20		同会議の他学部学生駒場から引きあげる。
20:30		駒場から3組計16人の学生、赤門からヘルメット旗等をもって戻る。
20:45		同学生6人ヘルメットをもって赤門から戻る。
21:00～22:00		同学生3人正門から、また5人が赤門から戻る。
		その他 教養学部構内に同学部1年文科1・2類13クラスが三吉讓に対し、公安機関に出頭することを勧告する決議を出す。

9月4日（水）	10:16	学部長会議開催（医科研）
---------	-------	--------------

	10:57	学部長会議終了(医科研)
	11:08	評議会開催
	15:05	評議会終了
	15:05	学部長会議再開
	18:30	学部長会議終了

9月5日(木)	8:00	<p>銀杏並木に下記立看板あり。</p> <p>9.5 国大協路線打破、学生自治権確立 学園斗争勝利、全都学生集会 全都社会主義学生戦線結成へ向けて 東Cフロント提起 6時東C学館(大会議室) 本郷社会主義学生戦線</p>
	12:00	学生の暴行事件に関する総長談話を学内に掲示
	14:30 ~ 15:10	東大卒業生有志の会代表安川第五郎氏外5人が医科研に総長を訪問し、東大紛争早期解決の要望書を手渡した。
	16:30	医学部中央館3階ロビーで学生が印刷物を燃している。

9月6日(金)	13:30	<p>赤門警備員詰所前に下記立看板が出されている。</p> <p>9・7 東大斗争勝利 全学決起集会 時1:00 - 病院前</p> <p>1. 読売記者暴行事件に対する警察権力の学内侵入はやむをえない(4日評議会) 2. 医学連執行部に巢喰う分裂者等全国大学に9月7~8日医学連大会(於安田講堂) 東大病院封鎖に全員上京せよと指令 3. 医科歯科大学にて東大病院封鎖断固遂行の立看 4. 8日(夜)東大、医科歯科大同時封鎖決定(医大は一層のエスカレート)</p> <p>政府文部省の大学自治への介入粉碎 分裂主義者の挑発的病院封鎖阻止 東大斗争勝利のための七者協集会~結集しよう 東大自治会中央委員会 教育学部自治会</p>
	14:00	医学部中央館3階310号室にてM3クラス会が開かれている。
	16:00	助手10人が地下で話し合いを行ない、その後3階で話し合っている。
	17:00	同館3階302号室30~40人が集会また地下B02、B03号室でも各30~40人が集会を開いている。

9月7日(土)	5:00頃	文学部掲示板に同学部一類仲野雅の9月4日付け停学処分解除通告および文学部長談話が掲出された。
	9:40	医学部中央館から赤ヘルメットの学生約35人が出て病院前で

	シュプレヒコールを行ない大講堂に入る。その後大講堂から他大学らしき一団約 22 人が無帽（ヘルメット持参）で大講堂を出て医学部中央館に入る。
9:40	大講堂正面玄関に「医学連大会会場午後 1 時から」の紙が貼り出されている。
10:00	学部長会議開催（医科研）
10:00	正門付近の建物付近に他大学生らしき者約 40 人が分散して屯ろしている。
10:00	赤門警備員詰所横に東 C の旗を立てた学生 4～5 人が屯ろしている。
11:00	大講堂周辺各所に他大学生約 200 人位が屯ろしており、名古屋大学医学部学友会の旗等がみうけられる。
11:00	病院外来玄関前に民青系らしき学生 12～13 人が屯ろしている。
11:00	銀杏並木で文学部学生が七者協集会の呼びかけを始めた。
11:30	医学部 3 号館前で基礎・病院連合実行委の助手等約 40 人位が集会を開く。
11:40	大講堂から赤白のヘルメット着用の学生 68 人が出て正門までジグザグデモを行ない、その後医学部本館、病院前をデモ行進し、午後零時大講堂に戻る。
12:20	正門、赤門、竜岡門、大講堂前芝生に下記立看板を出す。 「本日の安田講堂における集会は許可しておりません。他大学生の入構は禁止します。 9月7日 東京大学」
12:20	文学部国史学科の民青系学生 37 人が銀杏並木から病院前の七者協集会に向いかけたが、文学部の革マル系学生がこれを阻止してもみあう。
12:20	民青系学生約 80 人が病院方面からきて工学部付近に坐り込む。
12:45	他大学の医学連大会参加者約 300 人位大講堂に入場を始める。しかし、医学連執行部が「大会には東大、医科歯科大の封鎖を支持する大学のみ参加させる」との方針を打ち出した。22 大学約 200 人位は入場したが、東北大学等 28 大学の学生約 100 人位は入場せず大講堂玄関前でこれに抗議している。
13:10	病院外来玄関前広場で七者協主催の 9・7 全学総決起集会が開かれ約 300 人位が参加
13:30	学部長会議終了
13:45	病院前の集会参加者約 600 人位となる。（内 200 人位は都学連の他大学生）
14:00	大講堂前に立看板が出された。 (1) 医学連第 15 回大会に結集せよ。 東大斗争勝利を全国医学連学友と連帯して勝ち取れ。 10 月国が貫徹、全国青医連運動の前進を 10・21 反戦ゼネストを突破口に 70 年安保粉砕に向けて戦前を打ち固めよ。

		<p>東大反帝学評、医学部反帝学評 (2) 医学連大会の破壊を許すな 全医学生の傍聴を認めよ 14 大学代議員抗議声明 東大医学科 4 年クラス決議</p>
14:00		医学部 3 号館前の基礎・病院連行実行委の集会終了
14:30		七者協集で同集会決議を代表が総長に伝達することとなった。
15:05		<p>(1) 大講堂から白・赤ヘル着用、角材で武装した学生 56 人が出て同講堂正面玄関前で医学連大会に全員の入場を要求している他大学医学生の周囲をデモリ、その後大講堂前広場で集会を開く。</p> <p>(2) 他大学 30 校の医学生は名大の旗を先頭に 244 人が学内デモ開始し、銀杏銀杏-正門-赤門-社研通りのコースで行進、その後銀杏並木に戻り集会を開く。</p> <p>(3) 文学部学友会室から革マル 24 人が出て大講堂前広場をデモ。</p>
15:15 ~ 15:20		(1) および (3) の集団が合流し、病院外来前広場の七者協集会に押しかけ、角材を振う。このため民青系学生数人が負傷した。
15:20		(1) および (3) の集団大講堂に戻る
15:50		大講堂正面玄関前で医学連大会参加者資格審査に反対する他大学医学生代表が医学部学生と論争を行なう。
16:30 ~ 17:30		東職平田委員長外 2 人が医科研にきて、総長に面会し、本日の七者協集会の決議文を提出要望を行なう。
17:00		民青系学生約 500 人位 (内黄ヘルメット 150 人位) 病院前-医学部本館-赤門-正門-大講堂前-病院前のコースでデモ行進を行なう。
18:15		銀杏並木で集会を行っていた他大学医学生正門から帰る。
21:00		民青系学生約 300 人 (全員黄ヘルメット着用) 病院前からデモを開始し、大講堂前-正門-赤門-医学部本館のコースで行進し、病院前に戻る。

9 月 8 日 (日)	0:00	<p>病院外来前は都学連の動員により、約 1,100 人位となり、支援学生は中隊単位に編成され、御殿下グラウンドでデモ訓練を行なう。</p> <p>なお、支援学生は全員黄、白のヘルメット姿で角材を用意していた。</p>
	0:15	<p>大講堂の医学連大会は、三上凱久 (東大 M 3) を委員長とする新執行部を選出し終了した。</p> <p>その後大講堂の学生は、文学部学友会から竹竿 120 本を搬入。また空ビン等を準備し、午前 1 時頃には大講堂前広場で角材を振り突撃訓練を繰り返す。</p>
	2:00	病院外来前広場で集結中の学生の隊列の前方に共斗会議派と思

		われる学生数 10 人が押しかけ、ヤジ等をとばし、このため小競り合いとなり、共斗会議派と思われる学生が負傷した。
3:00		病院外来前広場には駒場の民青系学生等も到着約 1,200 人位が座り込みを行なってる。
7:10 ~ 7:30		民青系学生約 1,000 人が全員黄、白、青のヘルメット姿で学内デモ、大講堂前ではジグザグデモを行なう。
8:50 ~ 9:10		民青系学生約 1,000 人が学内デモを行なう。
10:00		病院外来前の民青系学生は逐次、帰り始め午前 10 時 20 分には七者協約 200 人位となったが、さらに午前 11 時 20 分頃には第 2 食堂に移動し待機している模様。
17:00		大講堂から青ヘルメット着用東大 C の旗をもった学生約 70 人が出て学内デモを行ない、民青粉碎等を叫ぶ
17:30 ~ 17:45		法学部方面から学生 10 人がブロック石等を大講堂に搬入した。
19:00		大講堂前広場で白ヘルメットの一団 (文) 40 人位、青ヘルメットの一団 (養) 70 人位、その他赤・白等のヘルメット (医、その他) 70 人位が集会を開く。 なお、その周辺に約 100 人位が集まる。
19:35		集会を終り、その後青ヘルメットおよび赤ヘルメット約 100 人位学内デモを行ない、午後 7 時 45 分頃病院外来玄関前で民青粉碎のシュプレヒコールを行ない、午後 7 時 50 分大講堂前広場に戻る。また他の学生は正門までデモし、午後 7 時 40 分頃大講堂に入る。
19:55		青ヘルメット (養) の学生約 70 人位が法文 2 号館前で集会を開く、リーダーが病院封鎖には反対である旨述べていた。
20:30		上記の学生赤門から帰る。
21:25 ~ 22:30		大講堂内の学生逐次帰る。
		(その他) 医学部基礎、病院連行実行委の助手等の代表 10 数人が 7 日午後 5 時頃から病院長室にきて、医学部長、病院長との会見を要求し、座り込みを続けている。

9月9日(月)	9:15	正門付近で民青系学生・職員組合員 4 人がビラを配布中、共斗会議の学生 3 人 (白ヘルメット 2 人、アノラック着用 1 人) が角材等をもって現われビラの配布を妨害し、角材を振り暴行、ビラを奪って引きあげた。
	12:00	第 2 食堂入口付近で生協職員がビラを配布中、共斗会議の学生 12 ~ 13 人が押しかけ、論争となる。その後双方ともに増え、民青系学生・生協職員 100 人と共斗会議の学生 40 人が激しい口論の末、小競り合いを行ない負傷者が出る。共斗会議の学生は午後 1 時 30 分頃デモを行ない、同 1 時 40 分頃に引きあげた。
	15:00	銀杏並木で文学部スト実行委の学生等約 45 人位 (内白ヘルメット 15 ~ 16 人) が集会を開き仲野雅 (文学部一類 4 年) の処分

		撤回、民青の斗争破壊を批判し討論後、午後5時頃学内デモに移り銀杏並木-大講堂前-病院-医学部本館-赤門-正門のコースで行進し銀杏並木に戻る。
17:15		文学部二階談話室において大学院人文学科学研究科の委員会が終了し、出席の教官が退出しようとしたところ、学内デモを終えた文学部スト実行委の学生等40数人が同室に侵入し、五味文学部長に対し① 停学処分解除となった仲野雅については処分を白紙撤回とせよ、② 大衆団交を行なえと要求した。
20:30		学生側は一時は50～60人位となり、また教官側は20人が同席して、上記の問題をめぐり押し問答を繰り返す。 なお、学生は報道関係者の取材をシャットアウトした。
22:00		学生は42～43人位となり、主として福本、加藤らの学生が発言する。
23:00		学生は30人位となる。
23:47		上記交渉終了、文学部長は病院吉利内科に診察に赴き、その後帰宅。 学生側は本日の交渉事項を確認し合い、10月午前零時5分頃引きあげた。

9月10日(火)	8:30	文学部スト実行委の学生約20人が同学部教室封鎖を強化
	10:00	学部長会議開催(医科研)
	12:45～13:30	出版会前路上、第2食堂前、法文1号館アーケード付近、赤門付近の各所で民青系学生と共斗会議の学生との論争があった。
	14:00	学部長会議終了。
	16:30	反帝のヘルメット着用の学生9人正門から出て日比谷の反戦集会に向う。
	17:30	青ヘルメットの学生10人赤門から出て日比谷の反戦集会に向う。

9月11日(水)	12:30	銀杏並木で七者協主催の「9・11総決起集会」が開かれ、約400人が参加。その周辺で約500人が見守る。 学生・職員の代表が次、次に前回の9・7集会の成果、今後の斗争方針を述べまた共斗会議派学生の暴力行為等が報告された。
	13:50	学内デモに移り、大講堂前-理学部1号館-病院-医学部本館-社研通り-アーケードのコースで行進し、午後2時25分農学部で解散した。

9月12日(木)	8:30	大講堂前に下記立看板が出されている。 { 9月13日全学総決起集会 7項目要求貫徹 全学スト・全学封鎖でどうぞ 9月20日大衆団交実現 1時 各学部集会 2時30分 全学集会 }
----------	------	---

	9:35	<p>経済学部前に下記立看板が出された。</p> <p>全学封鎖無期限ストに突き進め 8・10 告示紛碎 学部説明会紛碎 (注、16日予定とのこと) 闘う学友は9・13集会に結集せよ 経斗委</p>
	10:10	<p>法学部において午前10時20分から法文1号館二階25番教室において「8・10告示の説明会」を開催のため準備中、共斗会議派学生約15～16人(黄、MLのヘルメット着用者多数)が押しかけ同教室に通ずる階段をふさぎ説明会開催を阻止しようとした。</p> <p>これに対し法学部教官が説得し、また法学部の一般学生も共斗会議派の学生を非難して論争、もみ合う。</p> <p>そのさい共斗会議学生の中に三吉譲の姿がみえたので、藤木英雄教授らが三吉に対し警察へ出頭するよう説得を行なった。</p>
	11:00	<p>会場を同館一階21番教室に移し、説明会開催、学生約300人が出席した。</p> <p>同館入口では法学部斗争委の学生約25～26人が「官製説明会紛碎」の立看板を立てマイクを使い説明会反対を叫ぶ。</p>
	11:40	<p>共斗会議派の学生25～26人(赤・青・MLのヘルメット着用)が法学部説明会反対を叫び大講堂周辺をデモ、午後零時5分頃法文2号館前で解散して大講堂に引き上げる。</p>
	12:10	<p>法学部斗争委等の学生15～16人(青・緑のヘルメット着用)が説明会抗議の集会を開く。</p>
	13:20	<p>上記学生30人位となり法学部研究室前までデモ午後1時30分解散した。</p>
	15:30	<p>駒場で下記ビラが配布されているとの報告あり(養)</p> <p>全学斗争委員会書記局 教養学部 予定9・16駒場総決起集会(団交要求) <ul style="list-style-type: none"> ♪ 理学部学生大会 ♪ 法学部 学部 学生大会 ♪ 文学部は駒場と同じ行動 12時正門前集合 5時駒場封鎖</p>
	15:30	<p>病院管理棟前に医学部基礎・病院連合実行委の10～12人が集会したが少数のため集会は開かず、そのまま坐り込みを行なっている。</p>
	17:15～17:45	<p>上記の10～12人が病院産婦人科教授室に行き小林医学部長に面会を求めたが、学部長不在のため同科の小林拓郎助教授が応待した。</p>
9月13日(金)	15:00	<p>全学共斗会議主催の9・13全学総決起集会に参加の工学部学生約35人、文学部学生約60人が別々に学内デモを行ない、その後大講堂広場に集結した。</p>

15:20 ~ 16:40	教養学部学生が赤門から約 60 人、正門から約 160 人入構、その他医学部学生約 50 人、経済大学院生約 30 人、その他約 160 人が大講堂前広場に集結した。
15:35 ~ 18:05	大講堂前広場で 9・13 全学総決起大会が開かれ上記学生約 550 人（殆んどヘルメット着用）が参加した。 各学部代表がそれぞれ経過報告、斗争方針等を述べ、また ① 9 月 20 日総長評議会との大衆団交 ② 7 項目の要求 ③ 欺瞞的学部説明会中止 ④ 医学部卒試中止 ⑤ 当局は三吉譲に対する捜査活動の協力を拒否せよ等の集会決議を行ない、さらに大衆団交が実現されない場合は文学部、教養学部の事務部封鎖を行なう、と述べていた。 なお、集会には分院職員組合執行部と称する女子職員が参加して連帯の挨拶を行なった。
18:08	学内デモに移り、約 500 人が大講堂前、正門－工学部周辺－第 2 食堂前－病院－医学部本館、同 3 号館－赤門－都電通り－正門－大講堂前のコースで行進した。
18:50	デモを終り一部は解散する。
19:13	残り全員が解散した。
19:00 ~ 19:35	教養学部学生約 220 人正門から出構する。
18:20	その他 9.13 全学総決起集会の決議文を今井澄（医 43）外 1 人が長谷川学生部長宅に届けた。また別に総長宅には内容証明付きで郵送した模様。

9 月 14 日（土）	10:00	学部長会議開催（医科研）
	10:30 ~ 14:30	法務部 25 番教室において同学部学生大会が開かれ、七者協が 9 月 18 日に予定している全学統一スト等について討論した結果 6 月から確立されていたスト権は消滅した。
	12:30	病院産婦人科教授室に三吉譲を含む 8 人の共斗会議派の医学部学生がきて医学部長に面会を求めた。医学部長不在のため、林一教授（医・学生委員長）が応待し、また三吉に対して説得を行なった。
	13:45	学生 8 人は同室を一時退出
	14:30	学部長会議終了
	14:40	病院産婦人科教授室に三吉譲を含む斗争会議派の学生約 40 人が再び現れわ医学部長との交渉を申し入れる。
	15:20	七者協代表平田東職委員長ほか 4 人が 8 月 7 日の七者協決議に対する回答を求めるため医科研を訪れ総長に面会した。
	15:20	医学部において 9 月 16 日午後 2 時から 3 時間、医学部本館前で学部集会を開催する旨を同学部本館前掲示場等数か所に掲示した。
	15:25	病院南講堂において医学部長との話し合いに入り、林一教授お

		よび川村太郎教授がこれに同席した。学生はその後増え約 120～130 人（医・基礎病院連合実行委の若手研究者を含む）となり、他の教官の入室、報道関係者の取材を拒否している。学生側は卒業試験、処分問題、学部集会計画などについて次、次立って反対にさらに授業再開を中止せよと主張している。
17:30		同講堂から今井澄（医 43）が出てきて、大学側にマイク使用を要求する。
20:40		話し合いは物別れの形で終り、学生側は引きあげた。学部長はその後、午後 9 時 15 分まで記者会見を行なった。

9 月 16 日（月）	10:00	研究所長会議（海洋研）
	12:30	経済学部第 1 教室において学部集会開催、学生約 170 人が参加した。
	13:00	法学部斗争要の学生 20 人（緑、ML のヘルメット着用）学内デモ後、午後 1 時 5 分頃経済学部第 1 教室に押しかけ同教室入口でシュプレッヒコールを行ない引きあげる。
	13:00	工学部大講堂において同学部学生大会が開かれ学生約 800 人が参加した。
	13:00	教育学部 156 番教室において同学部学生大会が開かれ学生約 50 人が参加した。
	13:30	研究所長会議終了
	14:15	本日医学部集会開催予定の医学部本館前に共斗会議派の学生約 150 人が“教授団追及集会”と称し坐り込む。このため教官側がこれを止めるよう申し入れを行なう。
	14:40	小林医学部長、石川病院長等が医学部 1 号館寄りの芝生付近で学部集会を開こうとして、呼びかけを始めると、共斗会議派学生数人がこれを阻止し、医学部本館前で集会を行なうことを要求、押し問答となる。
	19:20	農学部学生大会は 9 月 18 日スト案および 9 月 20 日スト案をそれぞれ否決し終了した。
	19:30	医学部集会の途中太田教授倒れる。
	20:50	工学部学生大会は 9 月 18 日学部集会を開くことを可決し終了した。
	21:00	医学部長は卒業試験問題はさらに検討し、教授会にはかり次回の集会で回答したいと述べているが、学生側は「学部長はどのような方針で教授会に提案するか」と質し、押し問答を繰り返す。
	22:30	病院精神科岡田助手が「粒良事件について大学側は反省すべきであり、また卒業試験問題についてはこの場で教授会開催し、回答を示せ」と迫る。
	22:40	医学部長はこの提案を拒否後「困難ではあるが卒業試験の延期について教授会に提案する」と発言した。

22:45	医学部長は「学部長の責任において卒業試験を延期の方向で教授会に提案し、延期に努力する」と発言したので、学生側はこれを了承し、集会を終了した。
15:00	農学部2号館において同学部学生大会が開かれ学生約150人が参加した。
15:07	医学部長等は医学部本館前に移り、学部集会が開かれ、学生側の児玉和夫(M3)が司会する。学生約200人が参加、教官、医局員、職員等約500人がその周辺を取り巻く。 議長席の学生が「まず学生の分断をはかるような卒業試験を中止し、授業再開を見送るかどうかが態度を明らかにせよ」と迫り、医学部長はこれに対して「私はまず、学部長としての意見を披歴したい」と医学部の現状に対する感想を述べたが、学生は「話し合いの前提として授業再開と卒業試験の中止を要求したい」と学部長の話を中断させ、これに対して、ヤジ、怒号が起る。
15:20	取材中の読売新聞記者を共斗会議の学生5人位が取り囲み退去を要求する。
15:50	経済学部集会終了
16:30	駒場の教養学部において同学部スト実行委等の学生約100人が集会後ヘルメット覆面姿で構内をデモし、教官約200人一般学生約500人が待機している同学部1号館に押しかけ、教官らの人がきを突破し、同館に乱入バリケードを築いて封鎖した。(同学部事務部ではあらかじめこれに備えて書類等を搬出し、ガス・電気の供給を停止していた。)その後、野上学部長は一般学生約500人と討論集会を行なう。
17:00	同学部スト実行委等の学生は封鎖を完了引きあげる。
17:05 ~ 17:10	医学部長休憩のため学部集会を一時退席
17:40	太田邦夫、藤村靖両教授と粒良邦彦(M3)が春見医局長事件について論争、両教授はつるし上げの状態になる。
17:50	教育学部学生大会は9月18日から同21日までのストを可決し終了した。
19:00	医学部長は「卒業試験はこのまま行なうが、次回このような集会をもつまで授業の再開を延期したい」と述べ、本日の集会を打ち切りたいと提案したが、学生側は「それなら次の話し合いがまとまるまで卒業試験と授業再開を見合わせてほしい」と迫った。
22:55	共斗会議派学生約120人学内デモを行ない午後11時15分医学部中央館に戻る。

9月17日(火)	10:00	学部長会議開催(医科研)
	12:05	学部長会議終了(医科研)
	13:00	経済学部第1教室について同学部学生大会が開かれ、学生約240人が参加した。

14:00	教養学部1号館に同学部スト実行委等の学生約100人が立てこもったため、民青系学生および一般学生約700人が集まり、封鎖をとげと要求した。このため封鎖派の学生が中から出て激しいもみ合いを演じた。教官がこれを制止したため午後3時30分頃混乱は一時収まり、封鎖派の学生は同館を退去、民青系学生がバリケードを撤去したが、封鎖派の学生は構内デモを行なった後、午後4時頃再び押しかけ同館を再封鎖した。
20:40	経済学部学生大会は、①民青系執行部不信任案を可決②経済学部斗争委の9月18日から20日までの3日間ストの緊急提案を可決③経斗争委による臨時執行部を成立させ終了した。その後斗争委の学生約40人が学内デモを行なう。
23:15	経済学部スト実行委の学生が昌谷事務長に対し、教室、演習室を開くよう要求した。
23:45	学生は演習室の椅子等を持ち出し正面玄関にバリケードを築き、他の出入口を封鎖した。

9月18日(水)	8:30	教育学部が9月21日まで4日間のストに突入、民青系学生(大学院生を主体とする)約30人が同学部赤門側入口を閉鎖後、正面玄関前に坐り込み集会を開いたが、教職員の建物立入りは阻止していない。
	8:30	経済学部が9月20日まで3日間のストに突入、同学部正面玄関でスト実行委の学生約20人が教職員の建物立入りを阻止している。
	10:25	武田経済学部長が玄関前で学生と話し合いを行なう。
	11:00	学生側は教職員がスト破りを行なわないことを条件として建物への立入りを承諾した。
	11:30	同学部ロビーで教官と学生約200人が話し合いを行なう。
	12:50	銀杏並木で七者協が9・18全学総決起集会を開き、約400人が参加し、その周辺で約150人がこれを見守る。
	13:00	工学部大講堂において学部集会が開かれ学生約1,000人が参加した。
	13:50	七者協の集会が終わり、学内デモに移り大講前-病院-医学部本館-赤門-正門-工学部-陸橋-農学部のコースで行進し、午後2時30分農学部3号館前で解散した。
	16:50	経済学部学生約50人が同学部前から医学部本館-病院-大講堂前-アケード-社研通りをデモ行進し、午後5時同学部に戻る。
	17:00	工学部学部集会終了。
	17:10	工学部列品館前に同学部職組員約30人が集まり、「工学部事務封鎖に反対し、立ち上がろう」の立看板を出し集会を行なう。
	17:50	職員組合員等は約100人位となり、平田東職委員長等が本日の各職場集会の報告を行なう。
	18:15	上記集会終了

19:30	医学部において下記を学内に掲示した。 「掲示 今週の産科学・婦人科学の卒業試験を一時延期する。 9月18医学部」 なお、掲示を行なうと同時に医学部中央館の共斗会議派の学生に電話でこれを通知した。
19:45	共斗会議派の工学部闘う会の学生約60人が大講堂前から銀杏並木-図書館-医学部本館-経済学部-赤門のコースでデモ行進し、午後8時頃赤門で解散した。
	(その他) 東職においては七者協の9・18全学スト行動として下記部局単組が職場を行なった。 工学部 午後零時～1時 農学部 〃 ～0時30分 東洋文化 〃 ～1時29分 社研 〃 ～ 生研・物性研 〃 ～1時

9月19日(木)	8:30	大講堂正面玄関前に下記立看板が出されている。 { 9.20 総長・評議会大衆団交獲得 総決起集会 7項目要求、全学スト・全学封鎖で闘うぞ 2時 時計台前 東大斗争全学共斗会議
	13:00	経済学部第1教室において学部集会(学生側は学部団交と称している)が開かれ、武田経済学部長、教官37～8人と学部学生約300人、院生約40人、助手会約10人が参加して医学部の学生処分問題(主として粒良事件)等について話し合いを行なわれたが、午後7時10分次回また集会をもつということで集会を終了した。
	15:20	文学部3番教室において、文学部学生大会が開かれ学生37～8が参加した。 文スト実行委提案(スト体制強化、試験ボイコット)可決 文全支協提案(9.20～28スト)否決 大学問題を考える会(スト反対)否決 以上の議事を行ない、午後9時30分大会を終了した。
	17:00	工学部大講堂において、工学部学生大会が開かれ、学生480人が参加した。 闘う学生の会提案(封鎖を含む無期限スト) 否決 自治会提案(期限付スト) 否決 自治会修正案 否決 闘う学生の会修正案(無期限スト但し、スト解除条件付) 245:197:38 可決 自治会執行部不信任案 可決 以上の議事を行ない、午後10時30分大会を終了した。

		(その他) 工学部スト突入(無期限スト、但し、スト解除条件付)
9月20日(金)	2:00頃	教育学部に学生約10人(白ヘルメット着用者を含む)が侵入、自治会室、宿直所、浴室、便所等の窓ガラスを角材、投石で破壊し、また自治会室を攪乱、体育実験室の窓に植木をなげつけガラスを破壊する。
	14:40	共斗会議派の学生約30人(赤、緑、青のヘルメット着用)が大講堂前に集合
	15:10	同派学生約200人(赤、白、黒、黄、青、緑のヘルメット着用)となる
	15:10	医学部基礎・病院連合実行委の若干研究者約100人(内ヘルメット着用者6~7人)が病院管理棟前で集会を開き、午後3時50分頃大講堂前に向う。
	15:15~15:30	教養学部学生約170人が駒場から到着
	15:55	学生等約600人が大講堂前広場に集合して「9・20総長団交獲得全学総決起集会が開かれ、各学部代表から斗争報告等が行なわれた。
	17:40	学部長会議開催(医科研)
	18:15	集会は9月27日に総長に大衆団交を行なうことを要求する。総長はこれに対し9月25までに回答せよとの決議を行ない終了。直ちに学内デモに移り、大講堂北側から理学部1号館-病院-医学部本館-赤門-都電通り-農学部のコースで行進した。
	18:40	農学部1号館前で集会を行なう。
	19:00	正門から戻り、大講堂前広場で再度集会を開き、午後7時10分大部分の学生は解散したが、一部学生が集会を行なっている。
	20:30	全員解散した。
	22:00	山上会議所において、長谷川学生部長が共斗会議の学生代表(今井澄外7人)と会見する。共斗会議側は本日の集会決議を手渡した。
	22:35	医学部において①医学部長の「医学部学生諸君へ」と題する今後の話し合いについての学部の考え方についての談話②9月24日産科学婦人科学の卒業試験を行なう旨を医学部本館前等各所に掲示した。
23:10	学部長会議終了(医科研)	
		(その他) 工学部スト突入(無期限スト、但しスト解除条件付)
9月21日(土)	10:00	教育学部学生大会が開かれ、9月24日から27日までの4日間ストを可決し、さらに28以降無期限ストを行なうことを27日ま

	でに批准投票する案を議決した模様。(出席者数、終了時間不明)
12:30	経済学部学生大会が同学部第1教室で開かれる。午後4時頃まで定足数200人に達せず、その後出席者285人となり大会成立、① 共斗会議派から無期限スト案 ② 民青系から24日から3日間スト案が提出されたが、①案は可決保留 ②案は否決され午後8時50分大会を終了した。
13:30	法学部学部集会(学生側は大衆交渉と称している)が、同学部21番教室で開かれ、教官30人、学生側は代議員40人、その他学生約260人が参加した。 まず議長団に教官側2人(加藤一郎教授、石井紫郎助教授)学生側2人を選出、つづいて① 処分問題について(主として事実認定に関して)② 機動隊導入問題について③ 大衆団交の慣行化、運営協議機関の設置、特別委員会についての学生の要求している大学運営への学生の参加について④ 総長・評議会との大衆団交要求について⑤ 学部の基本的姿勢の5つの議題について、双方の意見を述べあい議事は整然と行なわれた。 最後に今後もこの様な集会をもつことを確認しあい、午後5時45分集会を終了した。
15:05	教養学部の4クラス学生(民青系)約95人が総長に対する要望書を持参し、駒場を出発総長の自宅に向う。
16:00	教養学部教官2人総長宅に到着、学生を説得するため付近で待機することとなった。
16:30	学生総長宅に到着、付近の路上で集会後、総長夫人に要望書を手渡し、総長帰宅まで待機と称して路上に坐り込む。
18:45	学生は代表4人を残し引きあげ、代表は記名を行ない、2時間後再び訪れると述べて一時引きあげる。
19:10	教養学部から別に小出昭一郎教授ら教官4人が到着し、学生を説得のための待機していた。総長は午後9時頃帰宅のところ、玄関前で学生約10人が待ちうけ会見を申し込まれた。総長は自宅に入り小出教授から学生が総長・評議会団交を要求していることを聞き同教授と話し合い後、同教授を通じ「24日夕方学生の代表数人と合う」と回答したが、学生は総長から直接約束を聞きたいと主張、押し問答となったため、総長は5分間学生と会見、再び「話し合いの日は24日夕方とし、4~5人に会う、場所については小出教授を通じ絡連する。」と回答した。学生はこれを了承し、午後10時30分頃引きあげた。
20:25	本日、文京区元町公園で東京書院争議支援集会が行なわれ東大からは午後5時40分頃共斗会議のML派学生約15人位が支援に赴いたが同集会終了後これに参加した。 日大、明大、中大等のML派学生を主体した学生、生徒約250人社青同系労組員約50人が東大斗争支援と称してデモを行ない東大に向った。途中機動隊にサンドイッチ規制され、そのまま農学部付近の十字路に至り、機動隊に前後から取り囲まれ、もみ合いを演じ若干の負傷者を出した。デモ隊はその後正

		門から構内に入った。デモ隊は一部が分散帰宅したが約 170 人（ヘルメット着用者多数）は大講堂前－病院前－医学部本館－社研通り－アーケード－大講堂のコースでデモ行進した。
	20:55	大講堂前で東大斗争支援集会を行なう。
	21:35	集会終了、逐次解散しはじめる。
	22:25	全員が解散した。

9月22日(日)	15:50	フロント学生 57 人(緑ヘルメット着用 40、他はヘルメット持参) 医学部中央館に入る。
	16:30	教養学部学生 15 人 (青ヘルメット着用) 赤門から入構医学部中央館に入る
	17:10	大講堂から LM、黄、赤、ヘルメット着用の共斗会議派学生約 20 人がデモし、医学部中央館に入る
	17:15	教養学部学生 5 人赤門から入構し、医学部中央館に入る。
	18:00	医学部中央館から学生約 150 人がヘルメット覆面姿で出て、そのまま病院外科系統研究棟 2 棟 (第 1 外科、第 2 外科、脳神経外科、胸部外科、皮膚科、口腔外科および麻酔科の 7 科の教授室、研究室、医局がおかれている) になだれ込み各出入口にバリケードを築き午後 6 時 10 分頃同建物を完全に占拠した。
	18:20	民青系学生約 50 人第 2 食堂に集結。
	20:00	同学生 30 人が第 2 食堂入口を固め、他は同食堂内にて待機している模様。 なお、都学連に応援を依頼しているらしい。
	20:15	病院外科系統研究棟占拠の学生約 170 人が同建物から出て学内デモを開始、病院外来前－第 2 食堂前－大講堂のコースで行進し約 120 人は大講堂に入り、他の学生約 50 人は再びデモし、占拠建物に戻る。
	21:20	民青系学生 210 人 (全員黄、白のヘルメット着用) 第 2 食堂を出て、大講堂前－正門－赤門－のコースで行進し、教育学部前で集会を行ない、午後 10 時 5 分終了。そのまま同学部入る。
	21:50	特別措置としい赤門の ^{ママ} 小門を開放した。
21:50	医学部長、病院長等記者会見を行なう。	
23:10	赤門で共斗会議派学生 4 人が民青系学生に取り囲まれ激論を交す。	

9月23日(月)	0:00	脳神経外科医局員 2 人が占拠された病院外科系統研究棟に入り、学生に退去を勧告した。 医学部五十嵐助教授 (解剖) が構内路上で児玉 (M3) に遭遇したので「これ以上の行動に出れば大学閉鎖になる」と説得した。 児玉は「これ以上のことはしない。但し、民青が行動すれば封鎖を拡大する」と答えた。
----------	------	--

0:40	五十嵐助教授は教育学部に赴き民青系学生に態度を開く。学生は「共斗会議派がこれ以上のことをやれば行動する」と答えた。
1:00	赤門で民青系学生が、共斗会議派の学生3人の入構を制止し口論、このため共斗会議派の学生7～8人が応援にかけつけ口論+が拡大小競り合いを行なったが、午前2時頃収まり、共斗会議派学生は同門外に民青系学生は門内でそれぞれ見張りを行なっている。
2:30～5:50	学生約35人が赤門から入構した。
10:10	共斗会議派の学生約60人が大講堂から占拠建物に入る。
10:10	病院外来前に東職約30人が集合している
10:45	〃 40人位となる
10:45	民青系学生145人が教育学部を出て、病院外来前に移動し、七者協の総長大衆団交要求、医局封鎖反対集会を開く。
11:00	占拠された教室の主任教授が個々に学生を説得することになった。 学生部において「部外者入構禁止」の立看板を各門に出す。
11:35	占拠学生30人占拠建物から出て医学部中央館前を経て大講堂へ向う。
11:40	大講堂前から共斗会議派の学生75人が2隊に分かれ病院前を通り占拠建物に入る。
12:30	七者協約350人病院前からデモに移り、外科系統研究棟-医学部本館-教育学部-正門-銀杏並木-大講堂前のコースで行進。大講堂前ではジグザグデモを行ない共斗会議派学生と口論したが、そのまま病院前に戻る。
13:15	七者協、病院前で総括集会を開き、①明24日教育学部学生が総長と会見することになっているが、他学部各階層からも参加してほしいと呼びかけを行なう。②本日代表が医学部長、病院長に会見を求めることを報告し、集会を終了解散した。その後②の代表10人が医学部長、病院長を訪れたが会見できなかった。 なお、民青系学生は教育学部に戻り同学部前で集会を行なう。
14:00	民青系学生約200人は教育学部前の集会を終り同学部教室に入る。
15:30	学士会(本郷)分館中庭に民青系学生150～160人が集まりシュプレヒコールを行なう。
16:30	学士館玄関前で医学部教官2人が民青系学生と討論を始めた。このため学士会側から今後このような事態に注意してほしいとの申し入れあり。(この討論会は午後2時30分七者協代表(柴田)が医学部対策委員会と卒試および医局封鎖の件につき話し合いたいとの申し入れを医事務部に行なった。 そこで医学部では代表2～3人となら学士会ロビーで会うと回答した。同3時55分条件を了承したため、村尾、大江助教授が出向いたところ多数の民青系学生等に取り囲まれ討論となり、その後細谷助教授も加わり学部集会を開かない点について

		討論を行なっているものである)。
17:00		学部長会議開催 (医科研)
19:00		<p>学士館玄関前では民青系学生が細谷助教授に対し、医学部は9月16日の学部集会での約束に反し、その後集会をもたず卒業試験を強行せんとしている。これを自己批判し署名せよと強要したが、同助教授はこれを拒否し押し問答している。</p> <p>なお、学生側は医学部長に団交を求めたので、これについては教授会に伝えると回答した。</p>
19:00		占拠建物横で共斗会議派学生約70人が集会を行なっている。
19:35		<p>共斗会議派学生(主力教養)約200人が病院通りでヘルメット姿で角材を振り突撃訓練を繰り返す。その後午後8時頃デモに移り病院前-大講堂前-正門-教育学部のコースで行進、教育学部前から内40人が学士会に押しかけ医学部教官と討論中の民青系学生と論争し、乱斗寸前の状態となった。医学部教官3人はそのさい帰る。</p> <p>また、共斗会議派学生も続いてひきあげ教育学部前に待機中のデモ隊と合流し午後8時10分頃占拠建物に戻り、民青系学生はその後集会に切りかえる。</p>
20:35		民青系学生は集会を終り、教育学部に戻り約50人が泊り込み、他は解散した。
22:40		学部長会議終了
23:00		共斗会議派学生は武装し、翌朝まで構内各所で見張りを行なう。

9月24日(火)	6:00	医学部中央館から共斗会議派学生80人が出て竜岡門を経て本郷3丁目方面に向う。	
	6:40	大講堂から共斗会議派学生(青ヘルメット着用)30人が出て学士会門を経て本郷3丁目方面に向う。	
	8:30	教育学部スト突入(27日まで)	
	10:00	学部長会議開催(医科研)	
	12:40	<p>病院外来前広場で七者協集会在開かれ約40人が参加した。集会では医学部長、医学部教授会、医学部学生委員長に代表を送り会見を求めていることの経緯が報告された。また各学部等の代表は総長団交、医学部団交、医局封鎖等の問題を学部等にもち帰り検討し、意見をまとめてほしい旨が述べられていた。</p>	
	13:30	集会を終り学内をデモ	
	13:30	学部長会議終了	
	14:10	評議会開催(医科研)	
	17:40	評議会終了(医科研)	
	17:50~20:30	法、理、経3学部長記者会見(医科研)	
			<p>(その他)</p> <p>総長は9月24日教養学部の学生代表(民青系)と話し合う予定だったが、22日になって附属病院の医局が反日共系の学生</p>

		によって占拠されるなど新しい事態が起ったため延期を申し入れ、学生側もこれを了承した。
--	--	--

9月25日(水)	12:10	工学部学生16人同学部4号館から告示粉碎を叫び学内をデモ、大講堂前-山上会議所-医学部中央館-病院-大講堂前のコースで行進、午後0時30分散散した。
	12:50	七者協約70人病院外来前広場で決起集会を開き、午後1時15分散散した。
	13:00	工学部講堂において同学部学生集会が開かれ、教官80人、学生約550~600人が参加した。①医学部処分の白紙撤回、それに関連して再審査委員会について②大衆団交について③告示撤回について等を議題として意見の交換が行なわれ、さらに学生側から各学科クラス討論の状況が報告された。議事は整然と行なわれ、午後5時集会は終了した。
	14:00	農学部2号館において同学部集会が開かれ、教官数10人、学生約100人が参加した。 農学部長から8・10告示についての説明および意見等が述べられ、学生側からこれについての質疑および文部省の大学への介入や試験延期等の問題が出され、これらについても意見の交換を行ない、午後6時頃集会を終了した。 なお、この様な集会を次回もつことを双方で確認した。
	15:00	法文2号館31番教室において法学部学生大会が開かれ、学生約350人が参加した。 大会では民青系から提案された9月28日~30日スト案、法学部斗争委から提案された無限期スト案をそれぞれ否決、その後両派から次次スト緊急提案が出されたが、いずれも否決または過半数に達せず9月30日再び学生大会を開くことを決め午後8時30分大会を終了した。 大会終了後法学部斗争委の学生55人は大講堂前に集合学内デモを行ない、法学部長室に押しかけ同室前でシュプレヒコールを行ない、さらに法学部研究室に入り、同様シュプレヒコール後、赤門-医学部中央館-病院-大講堂のコースで行進し、同講堂前で集会、午後9時10分散散した。
	15:30	経済学部第1教室において同学部集会が開かれ、教官30人、学生約400人が参加し、共斗会議の7項目要求等について特に処分問題について話し合いが行われ、午後8時50分集会を終了した。
	15:30	文学部学生ホールにおいて文学部総決起集会が開かれ午後4時7分集会終了、ヘルメット姿の学生約50人は学内デモに移り、大講堂前で工学部都工学科学生約20人と合流正門付近までジグザグデモを行なう。
	16:15	デモ隊約70人は文学部に戻り、アーケード内の同学部玄関から乱入し、事務室、学部長室、会議室等を封鎖、同学部出入口3ヶ所にバリケードを築いた。

18:30	文学部学生約 50 人、文学部占拠建物を出て学内デモを行なう。
19:00 頃	文学部職員は文学部事務封鎖に抗議する声明を学内各所に掲出した。
	<p>(その他)</p> <p>1、教養学部から 27 日共斗会議の総決起集会のさい本郷の正門および赤門を封鎖すると立看板が駒場構内に出されているとの情報あり。(学生部で連絡を受ける)</p> <p>2、午後 4 時過ぎ、成城の野上教養学部長宅に民青系学生(養)約 60 人が訪れ、本日の総長会見が流れたことにより再び総長への会見申入を依頼し、午後 8 時すぎ引きあげる。</p> <p>3、農学部構内に下記立看板が掲出されている。 9.28 総長・評議会団交要求行動 (総長宅へ) 農学部学生自治会</p> <p>4、赤門付近に下記立看板が掲出されている。 全学無期限スト学園封鎖で起て 本館医局封鎖貫徹、医教授会のボス(太田、大島正、中井、石川)を追放するぞ 医 M 4</p>

9月26日(木)	8:00	文学部事務部において渉外業務を行なうため図書館前芝生にテナント事務所を開設する。
	13:00	<p>経済学部第 1 教室において同学部学生大会が開かれ、学生約 390 人が参加した。</p> <p>学生は討論後午後 9 時 50 分頃、臨時執行部(共斗会議派)から提案された全館封鎖を含む無期限スト案を可決して大会を終了した。</p> <p>その後同学部学生約 100 人は医学部学生 100 人の応援をえて学内デモを行ない告示粉碎を叫び医学部本館-医学部中央館-病院前-大講堂前-正門-赤門-経済学部のコースで行進し、午後 10 時 45 分解散、内 21 人が経済学部に入った。</p>
	14:00	<p>理学部 1 号館前において理学部学生集会在開かれ、終了後学生は午後 4 時 10 分頃理学部化学科教室新館前で坐り込み集会を行なう。さらに午後 4 時 30 分頃からは同館 5 階ロビーで討論後、午後 5 時 40 分頃同館講堂で学生集会を開く。この集会には教官約 100 人学生側約 250 人(主体は大学院生、他学部学生多数を含む)が参加した。</p> <p>学生側は ① 学部長公選、運営協議会の設置 ② 大学院自治会の公認等の要求を出し、また教授会との交渉方法等につき提案し、これにつき教官と意見を交し、午後 9 時 30 分頃集会を終了した。</p>
	15:00	農学部 2 号館において農学部学生大会が開かれ学生約 170 人が参加した。大会では共斗会議派から提案された期限付スト案のいずれをも否決し、午後 8 時頃終了した。

16:00	工学部都市工学科学生約 30 人学内デモを行ない大講堂－第 2 食堂－病院－医学部中央館－赤門－正門－大講堂前－工学部 8 号館のコースで行進、午前 10 時 45 分散した。
18:00	医学部 3 号館前に保健学科学生討論集会基地と称してテント 2 を張る。
	(その他) 医学部卒試は終了した。

9月27日(金)	2:30	経済学部学生約 70 人同学部建物各入口に机等でバリケードを築き全館を封鎖した。
	3:00	大講堂から医学部学生約 20 人角材をもち医学部中央館に向う。
	4:00	医学部中央館から学生約 50 人医基礎病院実行委の若手研究者等約 50 人がヘルメット・覆面姿で出て病院南研究棟(精神神経科、産婦人科、老人科、整形外科、耳鼻科、臨床講堂が置かれている)に向い、同研究棟(精神神経科病室を除く。)の教授室、医局、研究室等を封鎖し、裏口等を除き各入口にロッカー等でバリケードを築く。
	8:30	経済学部無期限スト突入
	10:30～	学部長会議開催(医科研)
	13:30	工学部講堂において工学部学生大会が開かれ約 1,323 人(出席者受付数)が参加した。 大会は一般学生有志から出されたスト終結提案をめぐり激しい討論があったが、採決の結果賛成 930、反対 193、保留 86 でこれを否決【結果数値ママ】。またスト実行委提案のスト強化、試験ボイコット方針も否決、スト続行を確認し、午後 9 時 30 分頃終了した。その後スト実行委の学生は午後 10 時頃から学内デモを行ない、大講堂前－アークード－経済学部－理 2 号館－医学部本館－病院南研究棟－病院前－大講堂前のコースで行進し、午後 10 時 25 分散した。
	14:20	正門前で民青系学生の集会が開かれ約 100 人が集合した。 集会では①政府、文部省の大学紛争介入反対②総長・評議会との大衆団交を勝ちとろうとの決議が行なわれた。また本郷の学部学生 5 人、教養学部学生 5 人の代表を選び総長宅に派遣し、会見を求めることを決めた。なお、集会中に 10 月 8 日の東職ストには全学を挙げて支援するとの発言があった。同集会は午後 3 時 25 分終了し、その後学内デモに移り、正門－教育学部－経済学部－社研通り－文学部アークード－大講堂前－理学部 1 号館－正門のコースで行進し、午後 4 時解散した。
	15:00	病院南研究棟前において全学斗争会議主催の 9・27 全学総決起集会が開かれ、医学部学生約 50 人、経済学部学生約 32 人、文学部学生約 50 人、法学部学生約 27 人、教養学部学生約 210 人、その他学生等を併せて約 400 人が集合し、総長・評議会団交等を要求し、討論を行なったが、午後 4 時 10 分頃降雨のため会

		<p>場を大講堂に移動させた。</p> <p>午後6時10分頃大講堂内での集会を終了し、学内デモを行ない、大講堂北側－理学部1号館－病院前－南研究棟－医学部中央館－理学部2号館－赤門－都電通り－正門－大講堂のコースで告示反対を叫び行進し、同講堂前で再び集会后、午後6時50分から一部が解散さらに午後7時30分頃には全員が解散した。</p>
	15:00	<p>理学部2号館において理学部学生大会が開かれ、学生約280人が参加した。</p> <p>大会では民青系執行部から提案された無期限スト案、期限付ストの修正案と理斗争委（共斗会議派）から提案された無期限スト案、期限付ストの修正案を否決、さらに理斗争委の9月28日～10月2日までの期限付ストの緊急提案を賛成114反対79保留29で可決保留して29日午前6時45分頃終了した。</p> <p>その後理斗争委の学生約20人は学内デモを行ない、同午前0時55分頃大講堂に入った。</p>
	18:10	<p>本日の民青系学生集会の代表10人（本郷の学部学生5人、教養学部学生5人）および理学部大学院生約20人が総長の自宅に到着し、総長に会見を求めた。教養学部の小出教授、石田講師および理学部の浅田教授が学生の説得にあたり、さらに教養学部の市川教授、法学部藤本教授が説得に加わった。午後10時頃本郷の学部学生全員および理学部大学院生の殆んどが帰り、残りの学生がなお会見を求めているが、午後10時50分教養学部学生は要求書を藤本教授に手渡し帰った。なお、理学部大学院生平戸以下3人、教養学部学生1人は引き続き総長の帰宅を待っていたが、午後11時55分全員引きあげた。</p>

9月28日（土）	12:00	<p>教養学部においては9月21日学生大会決定により9月27日に無期限スト案に対する批准投票をメ切り本日午前中開票、投票数の過半数をもって批准した結果、無期限ストに突入した。</p>
	16:10	<p>工学部都市工学科学生21人（内赤ヘルメット15人、黒ヘルメット1人）が学内デモを行ない、工8号館－大講堂前－理1号館－病院前－病院南研究棟－医中央館－経済学部－工1号館－工5号館－工8号館のコースで行進し、午後4時47分解散した。</p>

9月29日（日）	13:00	<p>工学部講堂入口付近に同学部民青系（民主化斗争の会）15～16人集会、9月24日の総長記者会見（8・10告示確認）に抗議し、大衆団交要求行動のため総長宅に赴くことの相談を行なっている。</p>
	13:30	<p>工学部教官5人（高野暲、米田幸夫、猪瀬博各教授、高橋洋一、葉山真治各助教授）が学生を説得する。</p>
	15:30	<p>学生は説得を聞き入れず10人が赤門を出構総長宅に向う。このため高野、米田、猪瀬の3教官も総長宅に赴く</p>
	18:20	<p>工学部教官は総長宅に先行し、説得のため待機していたが学生が現われないため帰った後、学生11人が到着した。学生は総</p>

		長への要求書をおき、午後6時15分頃引きあげた。
--	--	--------------------------

9月30日(月)	10:10 ~ 14:02	学部長会議開催(宇航研)
	15:07 ~ 17:17	研究所長会議開催(宇航研)
	15:00	<p>法学部25番教室において同学部学生大会が開かれ、学生521人が参加した。</p> <p>大会では討論の後、緑会委員会の10.11~10.16スト(10.14~10.16無期限スト批准)提案および法斗争委の無期限スト提案をそれぞれ否決、その後双方から提案された修正案、執行部不信任案を否決の後、法斗争委の10.1~10.17ストの緊急提案を賛成204、反対199、保留19で可決保留し、さらに10.11学生大会を開くことを決め、午後11時15分大会を終了した。</p> <p>法斗争委の学生約30人は会場から大講堂前をデモし、同所で総括集会を開き、午後11時50分解散した。</p>
15:00	<p>病院外来玄関に下記ビラが貼り出されている。</p> <p>すべての医療労働者へ 10.8全学ストに起て 医局封鎖-自主管理斗争から 外来封鎖-病院全面封鎖-病院ストで 東大斗争を勝利へ</p> <p style="text-align: right;">社学同東大支部</p>	

10月1日(火)	10:20 ~ 13:00	学部長会議開催(医科研)
	13:45 ~ 17:08	評議会開催(医科研)
	17:00	<p>理学部2号館において同学部学生大会が開かれ学生約260人が参加した。</p> <p>大会では民青系自治会執行部、理斗争委からそれぞれスト案が提出されたが、これを否決後10月2日午前4時頃理斗争委提案の無期限スト案を賛成121反対102保留11で小差で可決した。学生はその後スト実行委を結成し、同午前6時頃約150人が学内デモを行ない赤門-正門-大講堂前-理学部1号館前で午前6時20分解散した。</p>

10月2日(水)	8:30	理学部無期限ストに突入し、同学部各建物入口を学生がピケを張る。
	8:30	<p>銀杏並木に下記立看板が出されている。</p> <p>教育斗争勝利、全都総決起集会 2時 大講堂(“注”4時~東洋大デモ予定) 産学協同路線粉碎、働く階級との闘い連帯を 全国教育斗争勝利と10.21反戦反安保ゼネストへ 主要集枝=日大、東洋大(スト中)、駅沢大(処分粉碎自治会建物勝利)神奈川(自治弾圧・粉碎勝利)上智大(斗争中)早大、中大他主催-全国反帝学評連合・東大全学反帝学評</p>

15:20	医学部1号館玄関前に下記立看板が出されている。 { すべての研究省は研究を中止し、大学当局に抗議せよ 若手研究者の会
15:20	医学部3号館玄関前に下記立看板が出されている。 { 基礎 10.2 無期限ストに突入中 社会医研 1. 8・10 告示撤回 1. 処分白紙撤回 1. 青委連と交渉せよ 1. 大衆討論せよ 助手もストで立て闘う若手研
18:00	薬学部記念講堂において同学部全体集会在開かれ、教官18人、学部学生22人、大学院生47～48人が参加した。 集会では8・10告示に関して(医学部処分白紙撤回および機動隊導入について)意見が交換され、午後8時30分集会を終了した。

10月3日(木)	8:30	医学部3号館玄関前に下記立看板が出されている { 封鎖自主管理で医学部100年のしっこくを断って、全研究者は若手研のストライキに連帯し闘う。 闘うM4
	8:30	医学部1号館玄関前に下記立看板が出されている { 封鎖自主管理で医学部の真の開放を勝ちとれ、全研究者は若手研のストライキに連帯し闘う。 闘うM4
	13:00	農学部2号館において同学部学部集会在開かれ、教官(研究所を含む)約40人学生(大学院生を含む)約200人が参加した。 集会では8・10告示について主として意見が交換されたが、途中畑村農学部長は疲労のため午後5時頃退席した。しかし集会は続行され、午後6時30分終了した。
	18:00	薬学部記念講堂において同学部全体集会在開かれ、教官13人、学生(大学院生を含む)約80人、助手等約10人が参加した。 集会では薬学部協議会の設置、大衆団交について、他学部大学院自治会の公認等について意見の交換があり、午後9時30分集会を終了した。

10月4日(金)	8:30	銀杏並木に下記立看板が出されている。 { 10・9 全学院生、研究生 総決起集会 1時30分 安田講堂 7項目要求実現 総長・評議会団交獲得 医局封鎖貫徹 10.21 国際反戦行動 全学 ク に決起せよ 戦う院生研究生の戦線を強化せよ 全斗連 基礎・病院連合実行委
----------	------	--

10:20 ~ 15:35	学部長会議開催 (医科研)
13:00	薬学部第1講義室において同学部学生大会が開かれ、学生約100人が参加した。 大会では「薬学部教授会は評議会に対し、8・10告示の撤回を求めることを声明すること」これが実現しない場合は、10月7日正午から無期限ストに突入するとの薬スト実行委準備会提案を賛成51 反対32 保留13で可決し、午後9時40分頃終了した。
15:00	農学部2号館化学1番教室において同学部学生大会が開かれ、学生約270人が参加した。 大会では8・10告示を拒否し、7項目要求貫徹のため総長・評議会団交実現まで、10月5日より無期限ストを行なうとの共闘会議側の学生提案を賛成137、反対111、保留17で可決し、午後11時58分終了した。
20:00	大講堂から赤青のヘルメット着用、覆面、角材所持の学生約25～26人がデモし医学部中央館に入る。
21:30	経済学部から赤ヘルメット着用の学生約40人がデモし、医学部中央館に入る。
22:30	同館3階333号室で集会が開かれていたが医学部1号館、同3号館の封鎖を決定、集会を終了した模様
22:43	医学部中央館から学生、若手研究者約150人(内赤、青ヘルメット着用者約60～70人先頭は角材所持)が出て2隊に分かれ、約100人は医学部1号館に、約50人は医学部3号館に、それぞれ向い、午後10時50分両館を封鎖した。
23:50	医学部1号館から学生40人医学部3号館に入る。

10月5日(土)	0:40	医学部3号館等から封鎖に参加した学生約20人が出てデモを行ない大講堂に戻る
	7:30	医学部1号館前に下記ビラが貼り出されている。 <ul style="list-style-type: none"> { 一切の入館は本日午前10時まで禁ず。 { 代表者は午前10時医学部中央館B04へ来られたし。
	7:53	農学部スト実行委学生が農学部正門の大扉を閉める。
	8:30	農学部無期限ストに突入
	13:30	学生部において各門に学外者入構禁止の立看板を掲出する。
	14:00	教育学部158番教室で文学部の民青系学生7～8人が討論中、文学部の革マル系学生15～16人が押しかけ論争し、小競り合を行なったが、午後4時20分革マル系学生は引きあげた。
	15:00	大講堂内において、全国反帝学評連合および東大反帝学評主催で全都集会が開かれ、東大生約70人、日大、中大、東洋大、上智大、駒沢大、早大等の他大学生約200人が参加している模様
	19:23	大講堂の集会終了
	19:30	学生は大講堂を出てデモに移り、病院前－医学部中央館－赤門－都電通り－正門のコースで行進し、午後7時50分大講堂

		前に戻り、集会后午後8時頃から一部が解散し始め、午後8時35分頃には全員が解散した。
--	--	--

10月7日(月)	10:10 ~ 13:20	学部長会議開催(医科研)
	13:40 ~ 18:00	評議会開催(医科研)
	14:05 ~ 14:45	教養学部900番教室における“欺瞞的全学集会粉碎”総決起集会参加のため法、工、経、育、理、文、農の共斗会議派学生約150人駒場に向け、正門および赤門から出構した。
	15:00	上記集会が開かれ、学生約500~600人が参加した。
	18:10 ~ 18:40	法学部長、理学部長記者会見(医科研)
	18:20	教養学部における総決起集会終了、その後構内デモを行ない解散した。
	20:00	薬学部無期限ストに突入

10月8日(火)	12:30	<p>銀杏並木において東院協主催の10・8公務員共斗・統一スト支援集会が開かれ、民青系大学院生を主体として、学部学生、生協好仁会、東職等約300人が参加し、労働者と学生との連帯等を叫んだ。</p> <p>その後大学院生は①東大紛争に関し、政府、文部省は介入するな②学内の自治を破壊するな③9月5日のデモで逮捕された教養学部学生2人を即時釈放せよとの決議を行ない、これを文部省へ伝えるため抗議団4人を選び午後2時20分集会を終了した。</p>
	14:33 ~ 14:47	文学部の革マル系学生が、正門前の民青系学生の立看板を持ち去り、さらに文学部の民青系倫理学科学生2人を同学部学生ホールにおいてつるし上げを行なっているとの情報が上記集会に伝わり、学生自治会中央委員会議長、書記長、大学院生等が同ホールに押しかけ、抗議を行ないこれを取り戻した。
	15:10	上記集会参加者約200人が学内デモに移り、大講堂北側-理学部1号館-病院前-医学部本館-赤門-図書館のコースで行進し、午後3時45分解散した。
	15:10	文学部革マル系学生35人(白ヘル着用)が銀杏並木に集合、経済学部までデモ行進し、同学部前で集会後、銀杏並木に戻り、午後4時20分解散した。
	16:40	上記学生35人赤門を出構、明治公園に向う。
	16:20	反帝学評学生18人(青ヘル着用)が大講堂前に集合、午後5時24分正門から出構、明治公園に向う。
	17:00	東職前に、同組合員、地区労、民青系大学院生、学生等450人が集合、集会を開く。
	18:25	同集会を終了、デモ行進し、正門を出構、お茶の水方面に向い、その後東職はさらに国立教育会館に向った。
		(その他)

		<p>1、本日未明、病院精神神経科医局会議が開かれ、「医局解体宣言」を賛成24、反対0、保留1で可決した。今後全医局員(約120人)の半数以上の賛成が得られれば、実行に移すこととなった。</p> <p>2、本日午後「米軍タンク車輸送阻止」を叫ぶ、中核、社学同、同ML派学生等が日比谷野外音楽堂で、また革マル、反帝学評等の学生は明治公園で集会後、国電新宿駅にそれぞれ向い、同駅構内ですわり込みを行ない、さらに路線上に降り、ジグザグデモや、すわり込みを行ない国電の運行をストップさせた。</p> <p>このため機動隊が出動、学生と激突を繰り返した。</p>
--	--	--

10月9日(水)	13:30	大講堂において全学院生、研究生総決起集会が開かれる。
	13:55	上記集会参加の大学院生等約70人が学内デモを行ない、大講堂北側-理1号館-病院前-医学部本館-赤門-正門のコースで行進し、午後2時30分大講堂に入る。
	16:50	集会終了後約100人が学内デモを行ない大講堂-病院前-医学部本館-赤門-都電通り-農学部-農学部仮門-正門-大講堂のコースで行進し、午後5時30分解散した。

10月11日(金)	8:30	<p>病院外科系研究棟前に下記立看板が提出されている。</p> <p>{ 10.12 全医学部総決起集会 2時 於：内科講堂</p>
	13:50	<p>大講堂前に下記立看板が提出された。</p> <p>{ 10.16 学園斗争勝利全都総決起集会 国大協、私大協路線粉碎 政府文部省の介入弾圧粉碎 安田講堂 3時 集会後 文部省デモ 参加校 東大(工)、教育大、慶応(理財)、 (〃予定) 東大(経)、日大、駒沢大、東洋大、上智大、 関東学院大、神奈川大、その他 東大反帝学評</p>
	14:00	法学部31番教室において同学部学生大会が開かれ、学生656人(委任状を含む)が参加して討論会を行ない、その後10回にわたるスト提案の採決を繰り返し行ない10月12日午前6時30分、無期限スト緊急提案を可決し、大会を終了した。(別紙参照)

法学部学生大会スト案採決状況			
日時	回	採決	備考
11日 19:10	1	(出席者数 629 委任状 27) 緑会 188 : 343 : 83 法斗争委 231 : 320 : 61 3年有志 201 : 334	無期限スト (4項目要求) 無期限スト (7項目要求) 無期限スト (7項目要求)
21:20	2	(出席者数 548 委任状 27) 緑会 186 : 300 : 50 法斗争委 227 : 268 : 40	無期限スト (19日学生大会) 無期限スト (26日学生大会)

22:20	3	(出席者数 524 : 委任状 28) 緑会 183 : 285 : 44 法斗争委 225 : 262 : 28	無期限スト 〃
23:00	4	(出席者数 512 : 委任状 35) 緑会 173 : 282 : 44 法斗争委 224 : 247 : 27	無期限スト 〃
12日 1:00	5	(出席者数 473 委任状 42) 緑会 150 : 276 : 26 法斗争委 215 : 234 : 20	無期限スト 12日～26日時限スト (26日学生大会)
〃	6	(出席者数 455 委任状 42) 緑会 147 : 247 : 27 法斗争委 196 : 225 : 26 (法5A有志)	15日学部長団交 18日学部長団交
3:10	7	(出席者数 446 委任状 42) 緑会 135 : 268 : 24 法斗争委 210 : 220 : 11	
4:30	8	(出席者数 440 委任状 42) 緑会 138 : 261 : 16 法斗争委 194 : 213 : 11	
5:45	9	(出席者数 421 委任状 42) 緑会 133 : 242 : 17 法斗争委 194 : 213 : 13	
6:30	10	(出席者数 431 委任状 42) 3年有志 241 : 137 : 37	6項目要求 緑会、法斗争委双方からスト実行委メンバーを選出12日から無期限ストに入る

10月12日(土)	8:30	法学部無期限ストに突入
	13:55	駒場の教養学部構内に10月15日(火)病院内科研究棟を封鎖するとの立看板が提出されている旨学生部を通じ連絡あり。
	14:15	病院内科講堂において10.12医学部総決起集会が開かれ、医・基礎病院連合実行委の若手研究者、共斗会議派学生約100人が参加した。(同講堂の使用許可申請は医学部事務部に提出されておらず。同講堂入口の扉の錠を破壊して内部に入り集合を行なった)
	19:30	上記集会終了

10月14日(月)	3:15	本富士署員および警視庁公安1課員約30人(3分の1は私服)が医学部中央館3階を捜索し、310号室に泊り込み中の三吉讓(医43、読売記者暴行事件により逮捕状が出されている)を発見、同人を連行し、警視庁に留置した。
	10:00～12:44	学部長会議開催(医科研)
	12:20	医科研講堂において総長記者会見を行ない、その後午後2時頃警視庁を訪れ、秦野警視総監に会見し、抗議を行なった。
	12:30	大講堂前において共斗会議派学生約200人が集会、三吉讓の逮捕に抗議し、全学緊急総決起集会を開く。
	12:50	大講堂前の抗議集会は終了し、学生は竜岡門までデモ
	13:30	大講堂前で再度抗議集会を開き、学生は約300人位となる。

14:25	抗議デモに移り、病院前を通過、竜岡門を出構する。
14:40	学生は本富士署前に坐り込み三吉の逮捕に抗議した。このため交通が一時ストップし、警官が再三退去の呼びかけを行なう。
14:50	再びデモ行進し、本郷3丁目を通過、赤門から入構午後3時頃大講堂前に戻り、集会を行なう。
15:00	構内各所に三吉逮捕に関する総長談話を掲示した。
15:30	大講堂前の集会終了、一部は解散し、さらに午後3時40分頃には全員が解散した。
15:30	銀杏並木に民青系学生約160～170人が集合し、三吉の学内逮捕に抗議し集会を開く。
16:32	学生は約200人となり、デモに移り、大講堂前－病院前－竜岡門－本富士署－竜岡門－大講堂前－正門－教育学部のコースで行進後、同学部に集結したが、午後5時38分頃解散した。
	<p>(その他)</p> <p>1. 医学部大学院では医学部附属病院分院に試験場を設け保健学修士の入試を実施予定のところ、午前10時頃同分院に共斗会議派の文学部および教養学部の学生10人が押しかけ保健学科の宮坂忠夫教授に試験中止を要求し、試験場に坐り込みさらに午後3時頃には各学部学生15人位が応援にかけつけ混乱した。</p> <p>このため医学部からは秋山房雄、山本俊一、横橋五郎の各教授および鈴木継美、前田和甫各助教授が赴き説得を行なった。その後共斗会議派の学生は、受験者と教官との話し合いが始められたため、午後4時30分試験場から退去した。教官側が受験者20人の意向をただしたのに対し、①学外からの受験者は試験の実施をすべて大学側に一任し、②保健学科学生で共斗会議の考え方に同調する2人は、試験の延期を求め③保健学科の一般学生は試験の実施希望を述べた。</p> <p>そこで教官側は協議の結果①不測の事態をさけるため試験を延期する。②試験はできるだけ早い時期に行なう。③試験日は1か月前に各人に通知する。④現在提出されている受験申請は今後も有効として扱う旨を受験者に伝えたため受験者はこれを了承し、午後6時頃解散した。</p>

10月15日(火)	10:13	学部長会議開催(医科研)
	13:40	学部長会議終了(医科研)
	13:40	評議会開催(医科研)
	14:15	大講堂前広場において三吉讓の学内逮捕抗議集会が開かれ、共斗会議派学生約300人が参加した。
	16:15	教養学部学生約100人が同集会に参加する。
	16:15	評議会終了(医科研)

	16:40	学部長会議開催（医科研）
	16:50	大講堂内において革マル全学連主催の10・15全都政治集会（革マル委員長成岡庸治主宰）が開かれ、これに参加の早大生約60人（全員白ヘルメット着用）がデモし正門から入構、大講堂に入る。
	16:55	大講堂前の抗議集会終了、学生はデモに移り本富士署に抗議に向う。
	17:25	デモ隊は本富士署前の都電通りに約10分坐り込み抗議のシュプレヒコールを行なったが機動隊約200人に排除され、本郷3丁目から赤門前都電通りをデモし、午後5時55分正門から入構、大講堂前に戻り再び集会を開く。その後午後6時15分頃、本夜病院内科研究棟を封鎖する旨を宣言する。
	18:15	早大生約12人正門から入構、大講堂へ入り政治集会に参加する。
	18:20	学部長会議終了
	18:30	大講堂前の抗議集会終了、解散する。
	20:50	法政大生約30人正門から入構、大講堂に入り、政治集会に参加する。
	20:55	医学部中央館前に若手研究者20人、共斗会議派学生約130人（医、養、経その他全員赤、白、青、黄等のヘルメット着用）が集合した。
	21:00	若手研究者20人が病院内科研究棟地下道から侵入、つづいて共斗会議派学生が侵入、医局員等を追い出し、同研究棟2・3階の出入口のシャッターを閉じ、また1階はロッカー等でバリケードを築き吉利、中尾、上田、3内科の研究室、実験室、小児科研究室の一部および上田内科医局を約1時間で封鎖した。
	22:40	大講堂内の政治集会終了、参加者約235人（半数は女子）が正門から三、三、伍、伍帰る。
	23:10	早大生約50人大講堂を出て、銀杏並木－正門－赤門のコースでデモし、赤門附近の塀を乗り越え帰る。
		<p>（その他）</p> <p>本日午後4時30分頃医科研に民青系学生8人が押しかけ総長に面会を求める。</p> <p>玄関前で横山学生課長がこれに応待したが、その後学生は15人に増え、押し問答を繰り返した。そこで理、養、育の3学部長がさらに説得を行ない、学生は午後7時30分頃引きあげた。</p>
10月16日（水）	15:00	<p>大講堂において反帝学生評議会主催の“教育斗争勝利10.16全都総決起集会”が開かれ、東洋大生約300人、東京教育大生約90人、日大生約150人、早大生5人、日本女子大生約20人、東大生（工、教養、経済等）慶応大生その他合計約700人が参加した。</p> <p>集会は①国大協、私大協路線粉碎②政府文部省の大学紛争介</p>

		入弾圧粉碎をスローガンとして討論が行われた。
18:35		集会を終了、学生約 500 人（殆どヘルメット着用）は大講堂周辺でジグザグデモを繰り返す。
19:00		デモ隊は大講堂前から病院－医学部中央館－経済学部のコースで行進、午後 7 時 15 分赤門から出構し、地下鉄本郷 3 丁目駅から乗車、日比谷公園に向う。（内約 250 人は無賃乗車）。また他の学生は正門から分散して出構した。
20:00 頃		学生約 700 人は日比谷公園に集合してデモに移り、文部省に向ったが機動隊にサンドウィッチ規制され、そのまま国電浜松町駅に至り、午後 9 時頃解散した。 このデモで学生 7 人が逮捕された。
		(その他) 去る 10 月 14 日学内で逮捕された三吉譲は本日身柄拘束のまま傷害罪で起訴された。

10 月 18 日 (金)	10:40	学部長会議開催 (医科研)
	14:00	法学部 25 番教室において同学部学生大会が開かれ、学生 731 人（他に委任状 1 人）が参加し、討論を行なう。
	16:00	学部長会議終了
	17:42	東京教育大学において午後 2 時頃から「文京 6 大学連帯集会」が開かれ、東大、東洋大、医科歯科大、お茶の水女子大、教育大、日本女子大の民青系学生が参加し、集会終了後約 500 人は教育大－お茶の水女子大－東洋大－東大のコースでデモし、正門から入構、教育学部前で集会を開いた。 集会では 10・21 斗争方針を討論し、また法政大学斗争支援のため 30 人を送ることを決めた。
	18:35	集会を終了、一部は解散したが、残り約 270 人は医学部本館前、病院前、大講堂前をデモし、法学部学生大会会場前で再び集会、経過報告等を行なった。
	19:50	上記集会終了、全員解散した。
	20:15	法学部学生大会は各派および個人提案、緊急提案の採決（別紙）を行なった後終了した。 その後、法学部斗争委の学生約 130 人は、法学部前－正門－赤門－医学部中央館－病院南研究棟－内科研究棟－大講堂前のコースでデモ行進し、法学部前で午後 9 時解散した。
		(その他) 1. 石川病院長は午後 3 時頃記者会見を行ない、さらに声明を発表、あいつぐ研究棟等の封鎖に抗議すると共にすみやかに封鎖を解くよう訴え、これを学内各所に提示した。 2. 病院神経内科医局会議は医学部教授会の態度に抗議して、同科の無給医局員 4 人、大学院生 3 人が診療から総引き

		<p>あげすることを決議「10月25日から実施する」と声明を 発表した。</p> <p>10月18日(金) 法学部学生大会 PM14:00～PM20:15 於25番</p>																																				
採決一覧表																																						
現在数	737																																					
委任数	1																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>可否</th> <th>回数</th> <th>提案者又は所属(会)</th> <th>賛成</th> <th>反対</th> <th>保留</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>否</td> <td>1</td> <td>緑会提案</td> <td>171</td> <td>468</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>2</td> <td>法学部学生懇話会提案</td> <td>228</td> <td>448</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>3</td> <td>連絡協議会提案</td> <td>210</td> <td>347</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>4</td> <td>法斗委提案</td> <td>195</td> <td>456</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>5</td> <td>石丸提案</td> <td>89</td> <td>224</td> <td>317</td> </tr> </tbody> </table>	可否	回数	提案者又は所属(会)	賛成	反対	保留	否	1	緑会提案	171	468	88	〃	2	法学部学生懇話会提案	228	448	45	〃	3	連絡協議会提案	210	347	155	〃	4	法斗委提案	195	456	69	〃	5	石丸提案	89	224	317
可否	回数	提案者又は所属(会)	賛成	反対	保留																																	
否	1	緑会提案	171	468	88																																	
〃	2	法学部学生懇話会提案	228	448	45																																	
〃	3	連絡協議会提案	210	347	155																																	
〃	4	法斗委提案	195	456	69																																	
〃	5	石丸提案	89	224	317																																	
		<ol style="list-style-type: none"> 1. 無期スト、4項目要求 2. 教授会に対する質問状文書による回答、実力による斗争拒否 3. 有期スト、10/19～10/28、10/28 学生大会 4. 無期スト 7項目要求 5. 教授会の自治を否定、学生の管理運営 																																				
		<p>河内・根本(スト実行委員会) 緊急動議 拍手による採決-成立</p> <p>10/29 学生討論集会</p> <p>10/31 学生大会</p>																																				

10月20日(日)	13:00	東大青年研究会議、東大大学院自治会旗をもつ学生約30人が大講堂前に集合後、午後1時25分正門を出構し、明治公園へ向う。
	13:00	教育学部から民青系学生約130人(ヘルメット着用)が出て、安保反対を叫び学内デモを行ない、病院外来前-大講堂-正門-赤門-のコースで行進、教育学部前に戻り午後1時25分解散、同学部に入る。
	13:55	医学部本館小講堂において、午前11時頃から東京都高校生10・21斗争実行委総決起集会が開かれていた模様で、高校生26人(ヘルメット着用)が同本館から出て医学部中央館-病院外来前-大講堂-正門-赤門のコースでデモ行進し、医学部本館裏口から入る。
	14:22	高校生15人竜岡門から出る。

10月21日(月)	7:50	教育学部から民青系学生約60人が出て同学部前で集会を行ない、その後医学部本館-医学部中央館-病院前-大講堂のコースでデモ行進し、午後8時20分頃同講堂前で解散した。
	12:15	病院管理棟前で東職、生協、好仁会、東院協4者の10・21全学総決起集会が開かれ、約180人が参加し、ベトナム反戦、東

	大民主化等を呼び討論を行ない、午後1時40分頃解散した。
12:30	銀杏並木中央において民青系学生の10・21全学総決起集会が開かれ約200人が参加し、ベトナム人民支援、文部省の干渉反対、学園民主化等を呼び討論を行なった後、午後1時50分学内デモを行ない、大講堂前-病院前-医学部中央館-医学部本館前-赤門-正門のコースで行進し銀杏並木に戻り、再び集会を開く。午後3時30分教養学部から民青系学生330人が到着、参加者はその後さらに増え約700人(約3分の1はヘルメット着用する)となった。同集会参加者はその後文京区礪川公園で開かれている民青系の10・21全国学生総決起集会に合流のため午後4時正門から出構、同公園に向った。
12:30	大講堂前広場で反日共系学生の10・21総決起集会が開かれ、革マル系学生40人、反帝学評およびフロント系学生約160人が参加し、ベトナム反戦、東大斗争勝利を呼び討論を行なったが、午後2時15分頃リーダーは、反日共系全学連各派が同日統一行動のため集会を予定した代々木の明治公園付近は機動隊2000人が集結中との情報により、急きょ現在地で集会を行なうことになった旨を宣言し、午後5時すぎからは国会あるいは新宿へ向い行動を起すとの予定を述べ集会を続行した。その後同集会には午後2時50分から同4時25分頃にかけて都内各大学の革マル系およびフロント系学生が続々集結し、約3000人の大集会となって氣勢をあげたが、午後5時40分集会を終了、約2500人(白・緑のヘルメット着用者多数)は隊列を組み、同5時55分正門を出構、国会包囲を呼び地下鉄本郷3丁目駅に向い、同駅から乗車した。また、その他の学生は三、三、伍、伍正門を出構本郷三丁目駅に向った。
	<p>(その他)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東大を出発した革マルおよびフロント系学生のうち約1000人は午後6時45分頃四ツ谷で下車し、激しくデモしながら麹町警察署に向け突撃し、投石等を行ない警官隊と衝突を繰り返した。 2. 中核派および社学同ML派の学生約1000人が午後6時30分頃国電代々木駅で下車後線路づたいにデモ新宿駅構内に乱入して機動隊に排除されたが、さらに午後8時40分頃約2500人が再び線路内に侵入した。また、四ツ谷方面から流れてきた革マルおよびフロント系学生等もこれに合流し約5000人となり同駅周辺で投石、放火等を行ない機動隊と激突を繰り返した。このため10月22日午前零時15分警視庁は騒乱罪を適用し、駅周辺の暴走デモ隊等の検挙にあたった。 3. 社学同系の学生約1,200人は中央大学に集結した後防衛庁に向い午後5時10分頃から同庁正門前で投石を始め、庁内への突入を図り、機動隊と衝突し、また午後9時30分頃からは約800人が再度突入しようとして機動隊と激突

	<p>を繰り返した。</p> <p>4. 早大で集会を開いた反帝学評の学生約 1,200 人のうち約 100 人は国会に向い午後 8 時 20 分頃うち約 30 人が塀を乗り越え国会内に入り込んだ。このため機動隊は周辺の学生を含め 60 人を検挙した。この後学生 1000 人はアメリカ大使館に向い警備中の機動隊に投石等を行なったが間もなく排除された。</p>
--	--

10・21 国際反戦デー 東大集会参加大学			
入構時間	大学名	人員	備考
13:00	東大 (文)	40	革マル
12:30	〃 (工、経、医、法、農)	160	フロント 反帝
16:20	〃 (養)	490	フロント
14:50	中 大	150	革マル・フロント
〃	国学院	180	革マル
14:55	学習院	120	
15:00	教育大	330	
15:15	早 大	500	革マル
〃	立教大	150	
15:20	上智大	100	
15:25	工 大	38	
15:30	法政大	160	フロント
16:15	〃	160	革マル
16:00	一橋大	50	
〃	東京女子大	60	革マル
16:20	専修大	120	
〃	立正大	14	
16:25	津田塾	80	
不明	慶応大	30	
〃	日本女子大	40	
〃	東京学芸大	16	
	校名確認 18 大学	参加人員確認 2,988 人	

10 月 22 日 (火)	10:30 ~ 15:30	学部長会議開催 (医科研)
	14:00	銀杏並木中央に法学部緑会の学生 (民青系) 約 30 人が集合し、10・21 新宿事件騒乱罪適用弾劾集会が開かれた。午後 3 時 40 分集会を終了、約 20 人が大講堂北側 - 理学部 1 号館 - 理学部化学 - 大講堂南側をデモし、銀杏並木に戻り、総長に会見を求めるため代表 10 人を医科研に派遣することを決め、午後 3 時 30 分解散した。
	14:00	大講堂前においても共斗会議派の騒乱罪適用弾劾集会が開かれ、文、理、医、法の各学部学生約 60 人および東大青年研究者会議のメンバー約 20 人が参加した。午後 3 時 40 分集会を終了、大講堂前 - 正門 - 赤門のコースでデモ行進後、大講堂前に戻り、午後 4 時 5 分解散した。

	16:00 ~ 17:30	東職平田委員長以下 15 人が医科研において総長と会見した。同委員長は学部長・評議会への要望書を提出した。
	16:00 ~ 18:00	法学部緑会の学生代表約 30 人が医科研に到着、総長に会見を求めたが、藤井理学部長が代って会見した。

10 月 23 日 (水)	11:20 ~ 12:40	法学部緑会等の学生 (民青系) 約 45 人が医科研において 10・21 新宿地区騒乱事件に関し、警察の学内捜査について総長と話し合いを行なった。
	12:40 ~ 14:30	学内若手有志教官 10 人が医科研において総長と会見した。その際有志教官は「紛争解決について」の文書を提出した。
	13:00 ~ 17:00	研究所長会議開催 (医科研)
	13:00	理学部 1 号館 86 教室において「10・23 明治 100 年祭反対全学抗議集会」(実行委は東職、東院協執行部、東大歴研、東大歴教)と犬丸義一の講演が行われた模様。
	16:00	上記抗議集会を終り、約 30 人が学内デモを行なった後、午後 4 時 15 分正門を出構し、九段会館の「明治 100 年祭に反対し、教科書裁判の勝利をめざす中央集会」に向う。

10 月 24 日 (木)	12:10	銀杏並木中央で法学部緑会他に理、教育学部等の学生 (民青系) 約 40 人が総長交渉迫及集会を開く。
	13:00	集会終了。総長に会見を求めるとして病院前からタクシーに分乗して医科研に向う。
	13:30	上記学生医科研に到着。その後学生は増え約 60 ~ 70 人となり、坐り込みを行なっていたが、午後 4 時 17 分、明日再度会見を求めるとして全員引きあげた。
	15:00 ~ 17:00	病院南講堂において医学部基礎・病院連合実行委が集会を行なう。
	15:55	法学部緑会等の学生 8 人が総長の自宅に押しかけ面会を求めた。総長は午後 4 時 20 分頃 10 分位学生と立話しのうえ、外出したため、学生は全員引きあげた。
	17:50	法学部緑会等の学生約 50 人が総長の自宅に押しかけ面会を求めた。
	18:20	上記学生は代表者を選び引きあげる。
	19:20	上記代表 3 人 (理学部自治会岩下新太郎、教養学部全学連行動委三宅寛、法学部緑会河内謙策) が再び総長宅に現われ玄関前で泊り込み、翌 25 日午後 1 時 30 分引きあげた。

10 月 25 日 (金)	15:00	大講堂前において「10・25 全学総決起集会」が開かれ、共斗会議派学生約 15 ~ 16 人が参加し、新宿事件騒乱罪適用粉碎を叫んだ。
	16:00	集会参加者約 40 人となる。
	16:00	集会参加者約 100 人となる。

17:20	集会終了、学内デモを行なう。
17:35	上記デモ終了、一部解散
18:00	教養学部学生正門から出構する。
	<p>(その他)</p> <p>理学部長室において午後5時頃から藤井理学部長が同学部学生自治会代表30人と会見中、午後6時頃共斗会議派学生(ヘルメット着用の他学部の学生も含む)約50人が押しかけ、同自治会代表を追い出し、理学部長に交渉を迫った。</p> <p>そこで自治会側の民青系学生は人数を集め、午後9時20分頃学部長を奪回しようとしたので、同学部長がこれを制止した。</p> <p>このため共斗会議派学生は午後10時頃全員引きあげ同学部長も帰宅した。</p> <p>このあと理学部学生交渉委員の教官と理学部自治会側の学生の話し合いが行われた。</p>

10月26日(土)	11:00～14:30	学部長会議開催(天文台)
	13:00～17:00	工学部講堂において同学部学生大会が予定されたが、参加者数不足のため学生大会不成立となり、討論集会が行なわれた。
	14:30～16:40	評議会開催(天文台)
	15:30	宇宙研に学生2人(派閥不明)がハイヤーで乗り付け所長室、会議室を見廻り、さらに事務室で「本日会議が開かれていないか」とたずねたので職員がない旨回答すると午後3時40分引きあげた。

10月28日(月)	11:30	学部長会議開催(生研千葉実験場)
	14:00	学部長会議終了(生研千葉実験場)
	14:00	評議会開催(生研千葉実験場) (同評議会に再審査委報告が提出された。)
	14:20～14:40	理学部大学院生約140人が同学部全員交渉への藤井理学部長の出席を要求し、学内デモを行なう。
	14:30	銀杏並木中央において法学部緑会の民青系学生2～3人が「本日の学部長会議粉碎」の立看板を出し、集会の呼びかけを行なっている。
	14:40	医科研事務部に教育学部の民青系学生1人がきて会議開催の有無を訊ねていた。 門外には数人の学生が待機していた模様。
	16:20～16:50	医科研事務部に法学部緑会等の民青系学生8人が自家用車(いすゞベレット品5-3815)およびタクシーで乗りつけ、総長に会見の約束があるとして所内を見廻り、また構内の官庁車を搜索した後引きあげた。
	21:57	赤・青のヘルメット着用の学生17人(内女子2人)が大講堂に入り、つづいて学生9人が大講堂に入る。

22:00	評議会終了
22:10	東洋大の学生約 40 人が農学部から入構大講堂に入る。
22:15	自動車を大講堂前に駐車させ、学生が角材 40 本を同構堂内に搬入した。 その後午後 10 時 45 分までに学生が三三伍伍約 100 人大講堂に入る。
23:10	理学部予備交渉を終えた学生 15 人が大講堂に入る。
23:15	上記交渉後学内デモを行なった学生の内約 20 人が大講堂に入る。
22:00	評議会終了
	<p>(その他)</p> <ol style="list-style-type: none"> 本日午前中学内有志教官（藤田勇（社研）、和田春樹（同）、馬場宏二（同）、戸塚秀夫（同）、荒瀬豊（新研）、高木教典（同）、中西洋（経済）、兵藤釗（同））の 8 助教授が連名で「収拾案についての意見」を発表した。同意見書は① 8・10 告示については一方的であると批判② 機動隊導入の反省が不十分である。③ 医学部処分問題についての再審査委報告の取り上げ方の批判④ 新収拾案は全学教官の討論の上、教官側の提案として学生に提示し、その論議を経て全学集会の場で確認されること等を述べ、これを現場教官の声として学内各所に提出した。 理学部においては教官側と大学院および学部の学生との全員交渉が予定されいたが、藤井理学部長が不在のため、午後 3 時から予備交渉が開かれ、教官数人と学生約 400 人が参加して交渉がもたれた。午後 8 時頃からは藤井理学部長のほか教官側は約 70 人が参加した。 学生側は全員交渉のさいは① 理学部長および理学部評議員全員が参加すること② 第 2 次収拾案について全員交渉までの段階では教授会は態度を保留または反対することを要求し、教官側と議論したが、双方の見解は対立のまま 10 月 30 日理学部全員交渉開催を学生側がさらに要求して午後 10 時 30 分頃終了した。その後学生は理学部 1 号館玄関前で集会を開き、集会終了後約 40 人が学内デモを行なった。

10 月 29 日 (火)	0:40	大講堂から学生約 300 人（殆んどが青・赤・白のヘルメット着用覆面、角材所持の東大、日大、東洋大生等）が出て同講堂前に集合、シュプレヒコールを行ない、女子学生等は付近の石等を拾い集めた後、隊列を整え農学部陸橋方面に向う。
	0:50	上記学生農学部から出構、東洋大に向う。
<p>(紛争中の東洋大では 28 日午後 3 時頃スト反対派の学生約 300 人が正門、建物等のバリケードを撤去し、その後深夜まで監視を続けた。一方スト派の東洋大生と</p>		

	これを支援する東大、日大の反民青系学生は東大に夜間集結し、午前零時 50 分東大を出発、午前 1 時 5 分頃東洋大に到着、同大構内に突入、角材を振り、また空ビンや、石を投げてスト反対派の学生や教職員を追い出し、建物 2 ヶ所を占拠、入口にバリケードを築いた。 このため警視庁から機動隊が現場に急行した)
--	---

10 月 30 日 (水)	10:00 ~ 16:00	学部長会議開催 (農・二宮農場)
	10:00 ~ 12:00	理学部科教授会会場 (理学部化学科会議室) 前ロビーに同学部学生約 50 人が集まり、入場しようとする教官に対し、理学部全員交渉についての学生側の考えを訴えていた。
	10:30	大講堂前南側芝生付近に東洋大生が三三、伍伍集合し始め午後零時 25 分頃約 200 人となる。
	11:00	医学部中央館付近に東洋大生が三三、伍伍集合し、約 170 人 (殆んど女子) となる。
	11:15	上記学生約 170 人は医学部本館裏口から入り、同館講堂において集会を開く。
	13:00	理学部教授会会場前ロビーに同学部学生約 150 人が集まり入場しようとする教官に対し、理学部全員交渉についての学生側の考えを訴えていた。
	13:45	大講堂南側芝生に集合した東洋大生は医学部本館裏口に移動し、午後 2 時 30 分頃同館に入り集会を開く。
	17:10	東洋大生は集会を終り、医学部本館裏口から出て隊列を組み午後 5 時 25 分デモに移り、山上会議所横、大講堂前広場を通過、一隊約 250 人 (白ヘルメット着用) は正門から午後 5 時 41 分出構し、東洋大方面に向う。また他の 1 隊約 120 人 (7 割は女子) は正門付近までうず巻デモを行なった後大講堂前に戻り、病院外来前 - 医学部中央館 - 教育学部前のコースでデモ行進後解散し、午後 6 時頃赤門から出構した。
18:30 ~ 20:30	理学部教授会後、同会場において教官側と学生側と理学部全員交渉について話し合いを行なう。	

10 月 31 日 (木)	10:40 ~ 14:30	研究所長会議 (農・二宮農場)
	11:00	赤門付近に下記立看板が掲出されている。 (1) 欺瞞的収拾策粉碎 学外逃亡 7 ヶ月総長は直ちに学園に戻れ 7 項目要求、全学バリケード封鎖貫徹 医教授会は責任をとれ 医共斗会議 闘う M 4 (2) 11・2 全学総決起集会 11・2 実行委、東大斗争勝利行動委
	12:10 ~ 17:00	東洋大生約 200 人が医学部本館内で集会を行なう。

14:00 ~ 20:20	<p>法学部学生大会が同学部 25 番教室で開かれ、学生約 400 人が参加した。</p> <p>大会では緑会、法斗争委、学生懇談会の 3 者から提案が出されたが、いずれも否決し、11 月 14 日再び学生大会を開くことを決め大会を終了した。</p>
15:00 ~ 19:00	<p>経済学部 1 番教室において同学部集会在開かれ、教官 32 人、学生約 220 人が参加した。</p> <p>学部集会上では、① 8・10 告示の廃止について ② 同学部の見解について ③ 新収拾案について双方の意見を交換した。</p>
15:40 ~ 17:00	<p>銀杏並木において文学部総決起集会在開かれ、革マル系学生約 20 ~ 30 人が参加した。</p> <p>学生は新収拾案粉碎等を叫び、討論を行ない、その後学内をデモした。</p>

(あきやま じゅんこ 東京大学文書館)